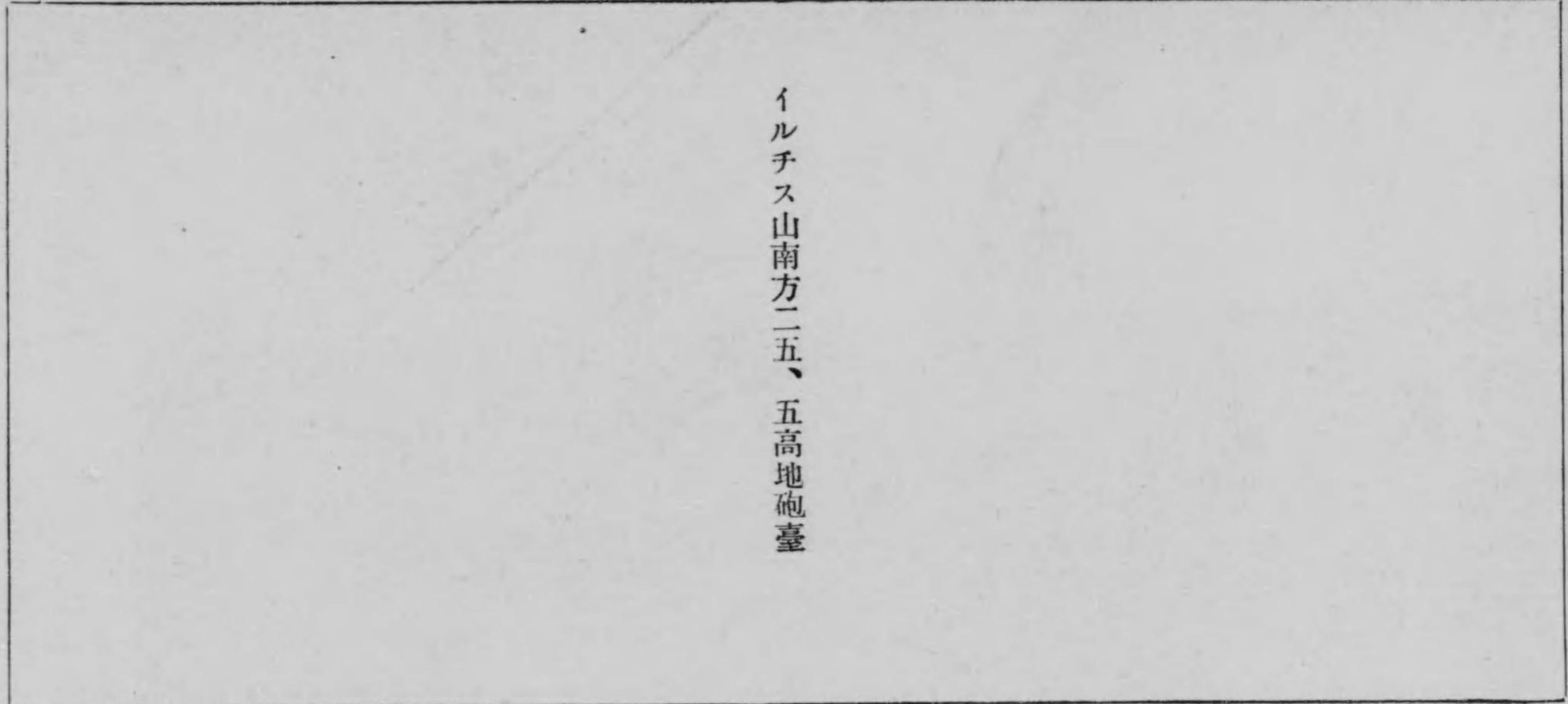


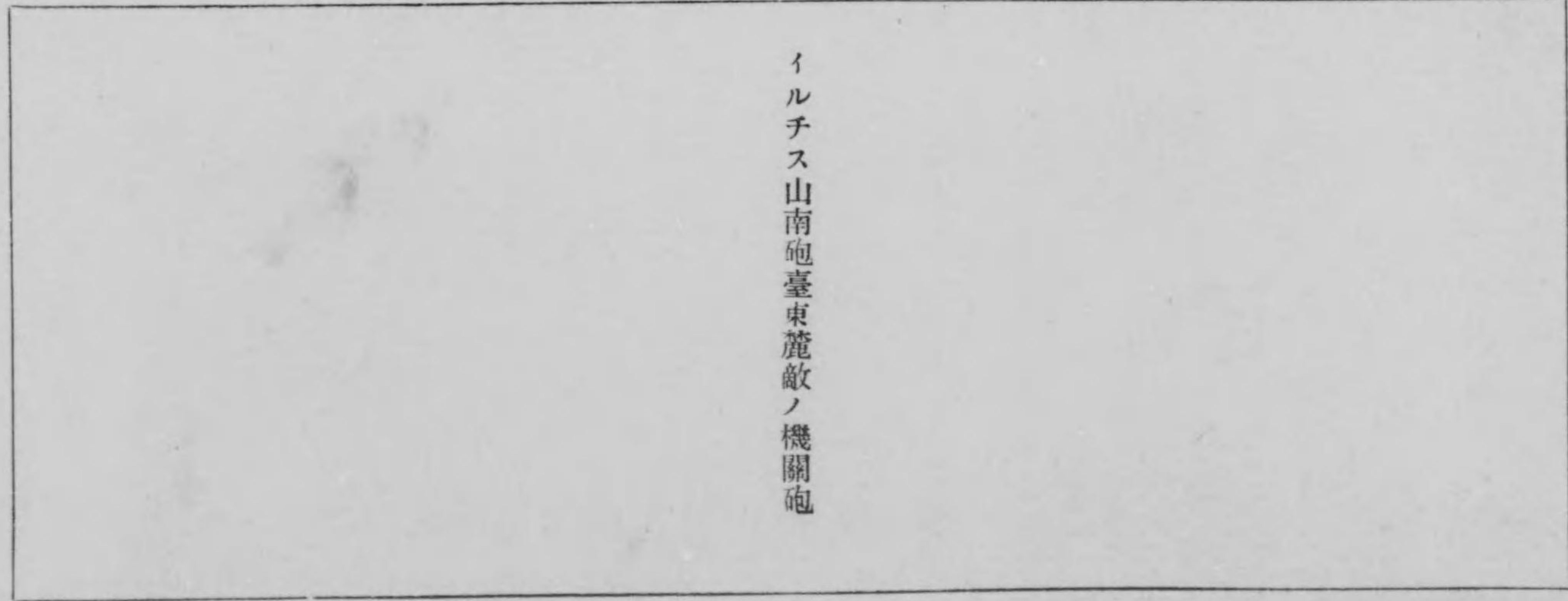
イルチス岬砲臺 其一

同上 其二
海軍速射加農二門在リ

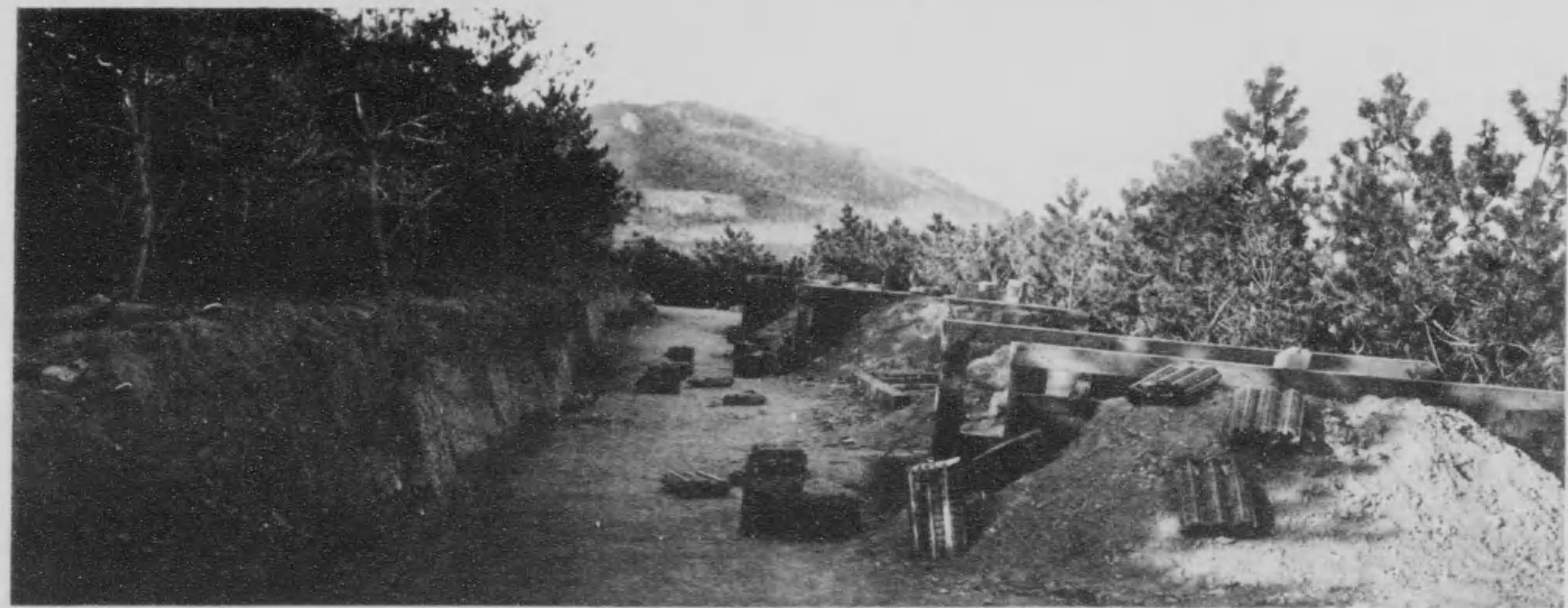




イルチス山南方二五、五高地砲臺



イルチス山南砲臺東麓敵ノ機關砲



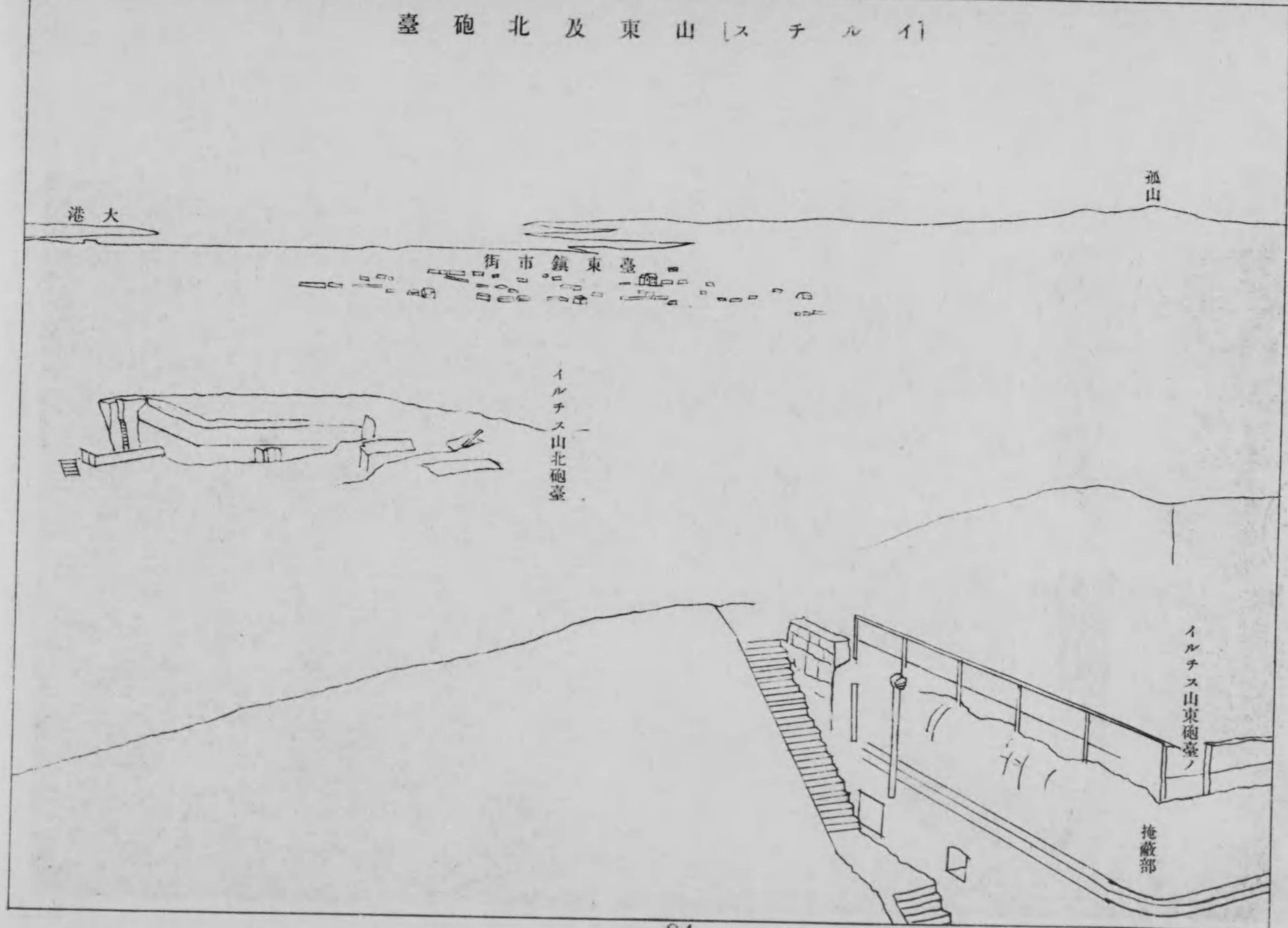
「イルチス」東砲臺占
領ノ際ニ於ケル該砲
臺頂上ニ植立シタル
歩兵第五十六聯隊軍
旗並ニ機關銃
十一月七日午前撮影

「イルチス」山東砲臺側背面
砲ハ敵ノ十珊半加農



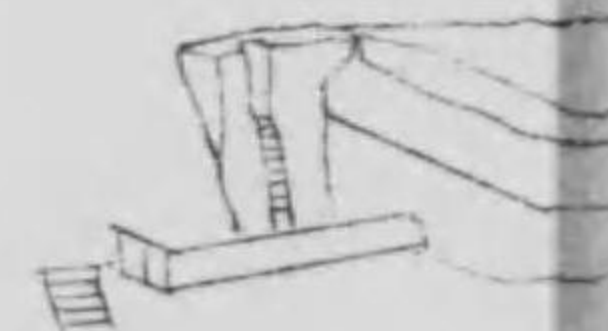


イ ル チ ス 山 東 及 北 砲 臺





港大



イルチス山ニ於ケル砲臺ノ一部

其一

東砲臺ニ於ケル敵ノ第一砲車、上方鐵板ニア
多數ノ穴ハ我ガ射彈ノ破壊セルモノナリ

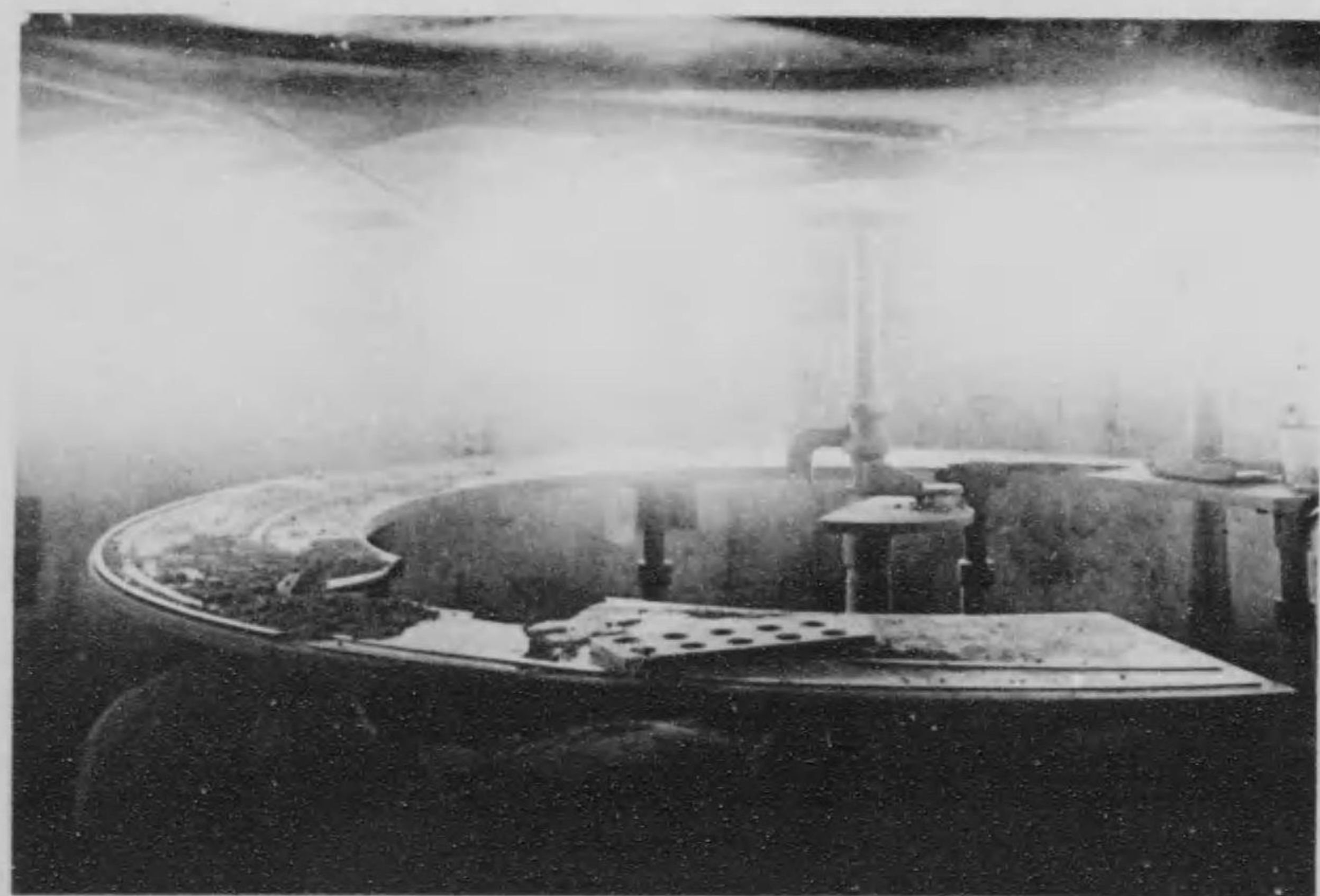
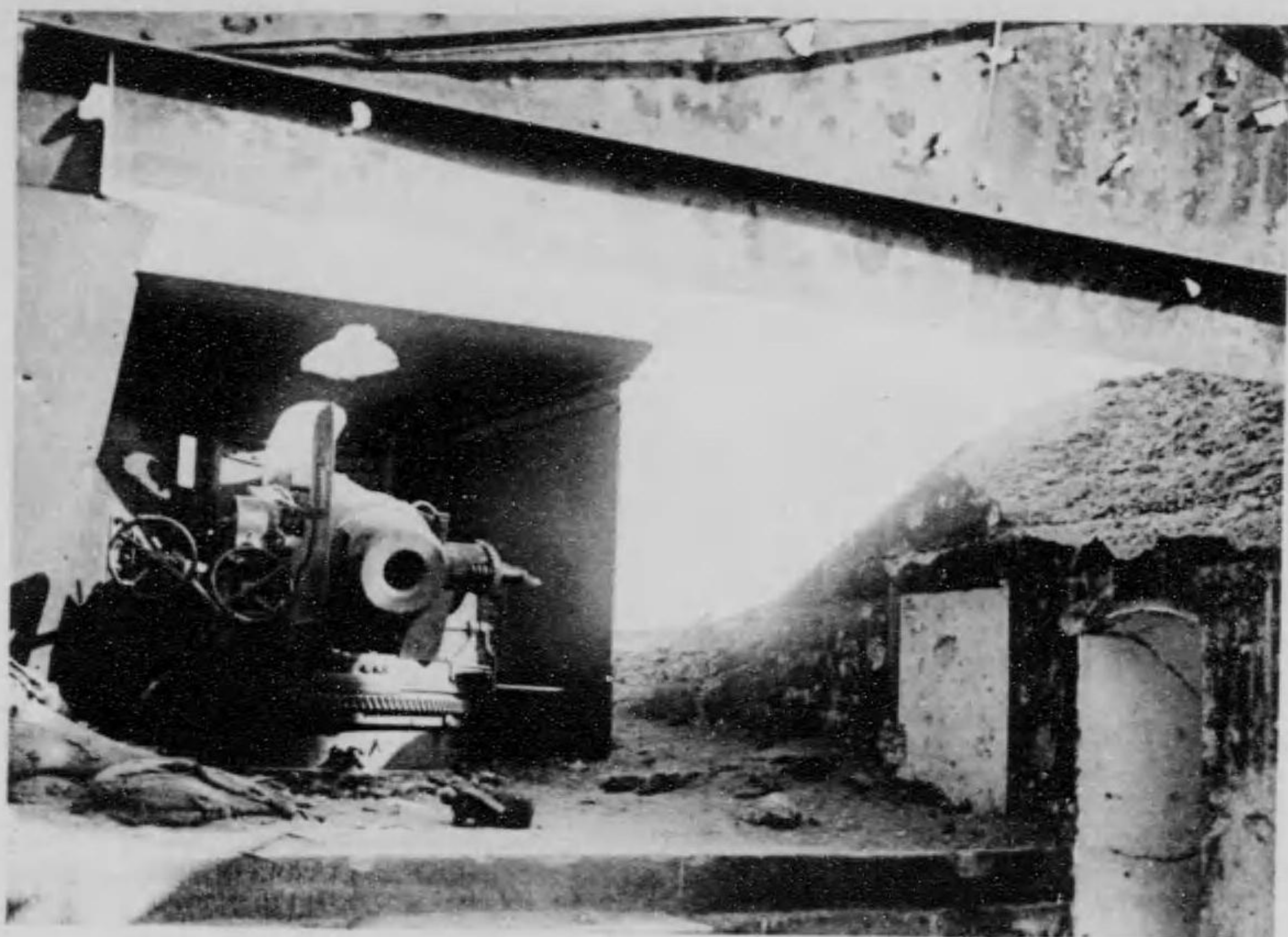
其二

北砲臺第三砲車自爆ノ景況

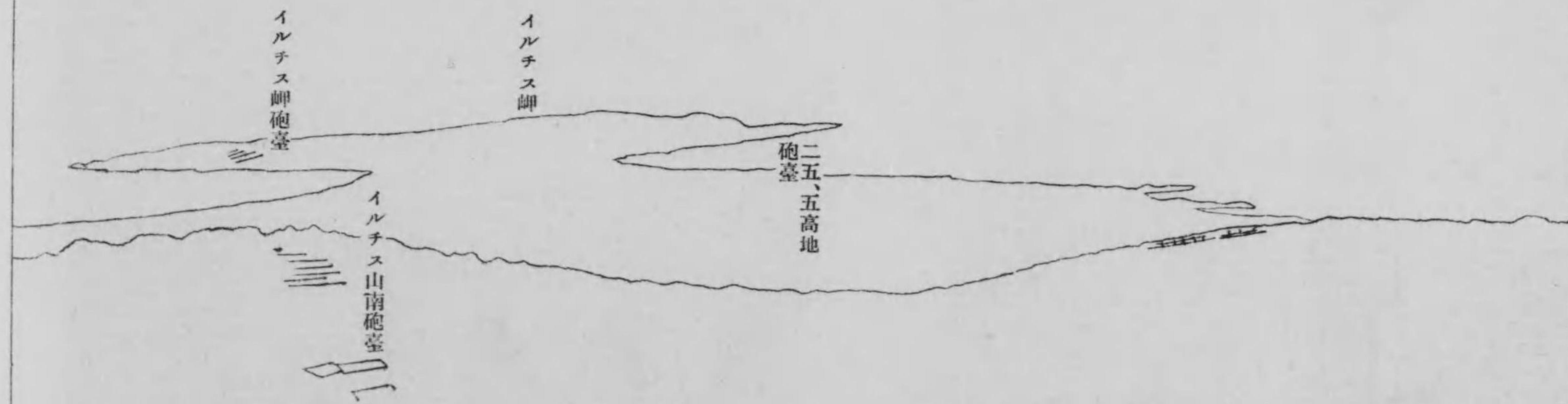
其三

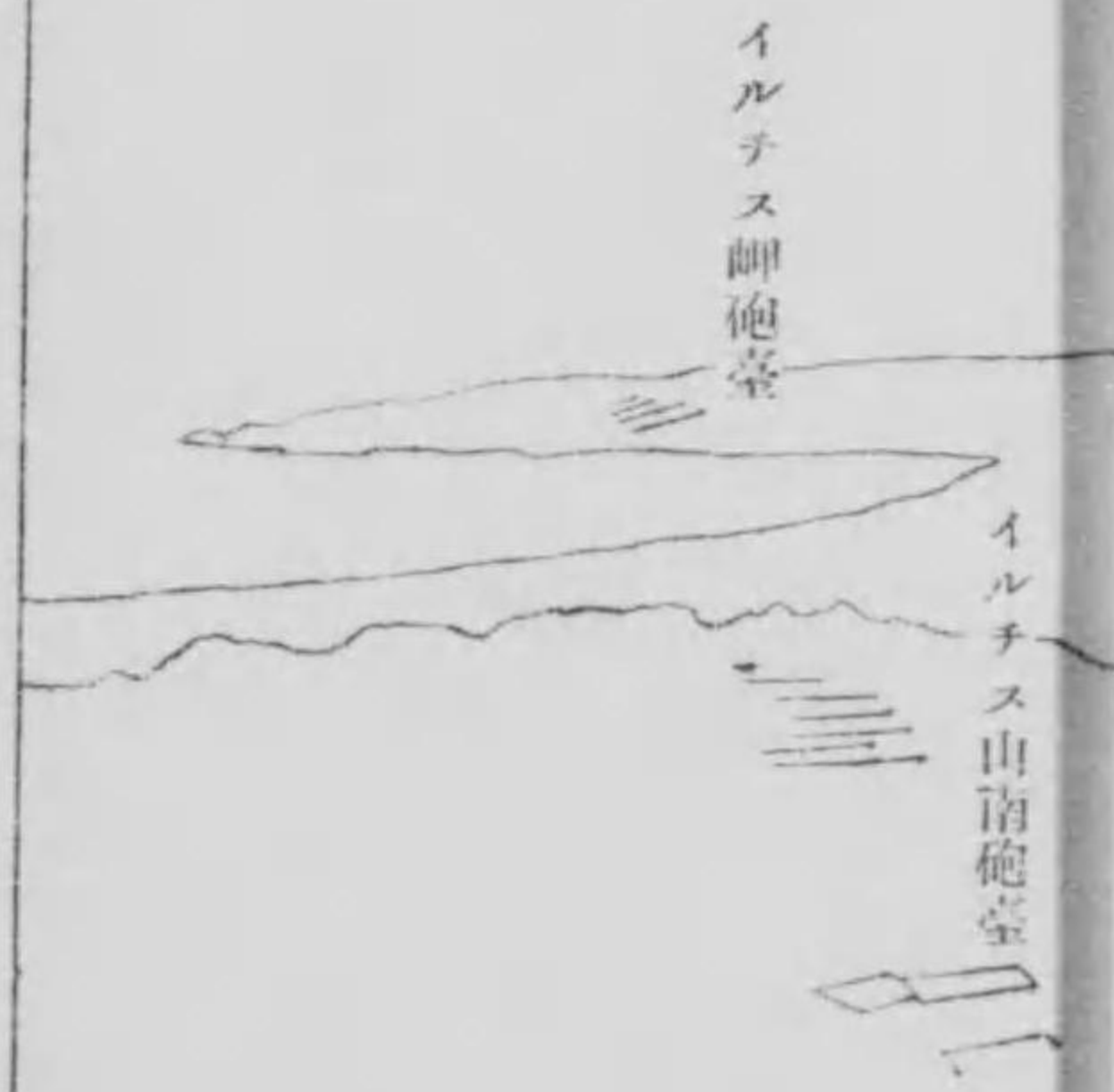
一五四、五高地觀測所内部ノ破壊



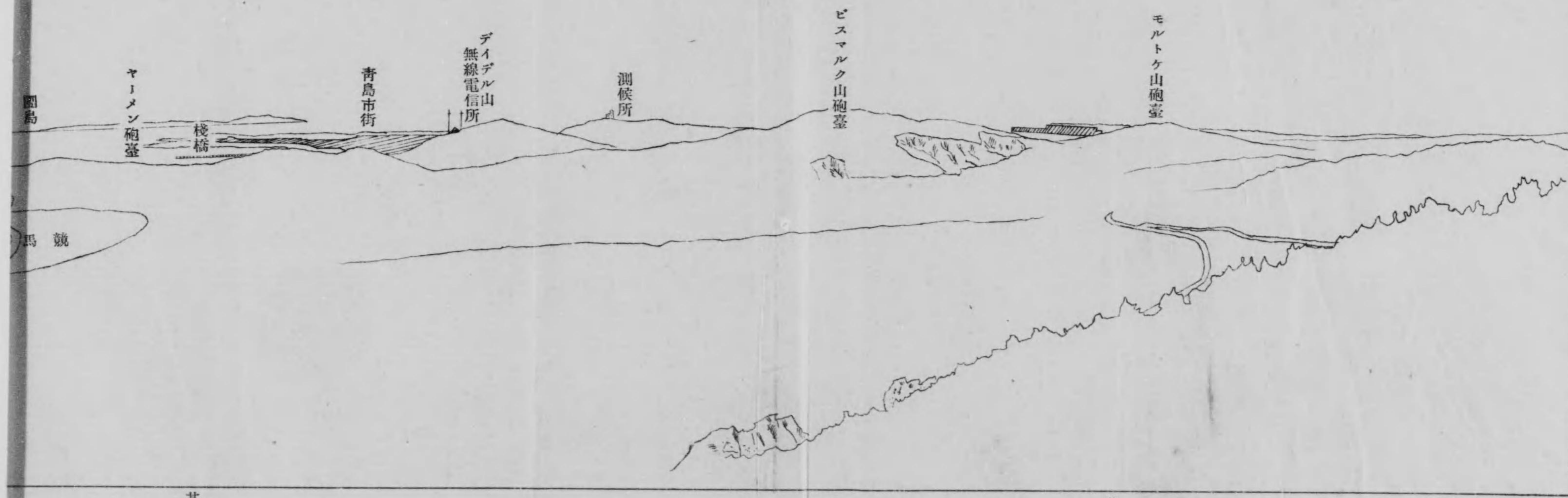


ム望ヲ岬[スチルイ]リヨ山[スチルイ]





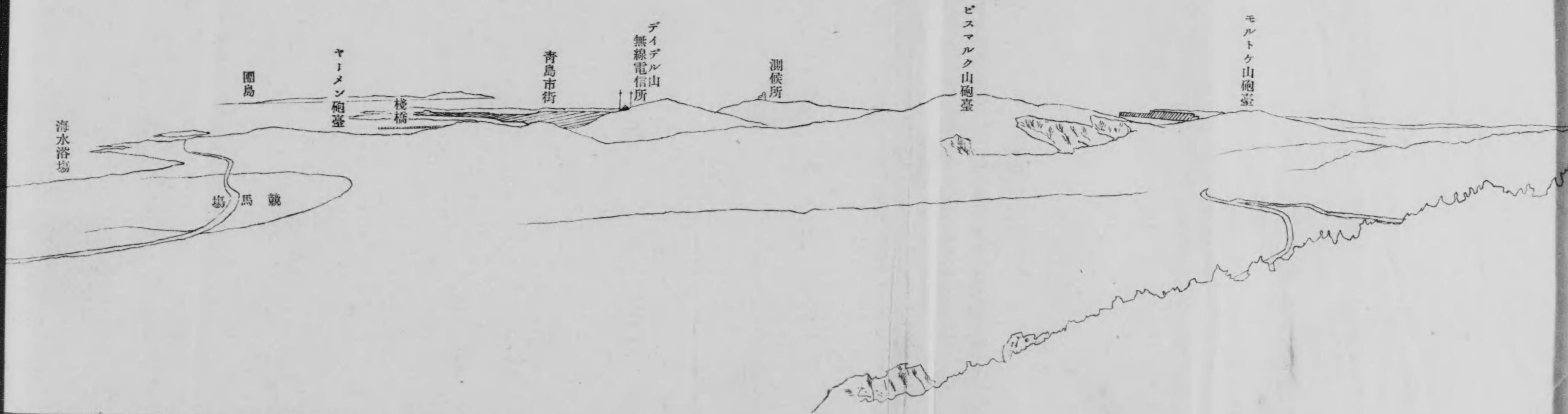
イリスチ山南方一五、四、五高地ヨリ西方ヲ望ム



其二

其一

ム望ヲ方南西リヨ地高五、四五一方南山スチルイ

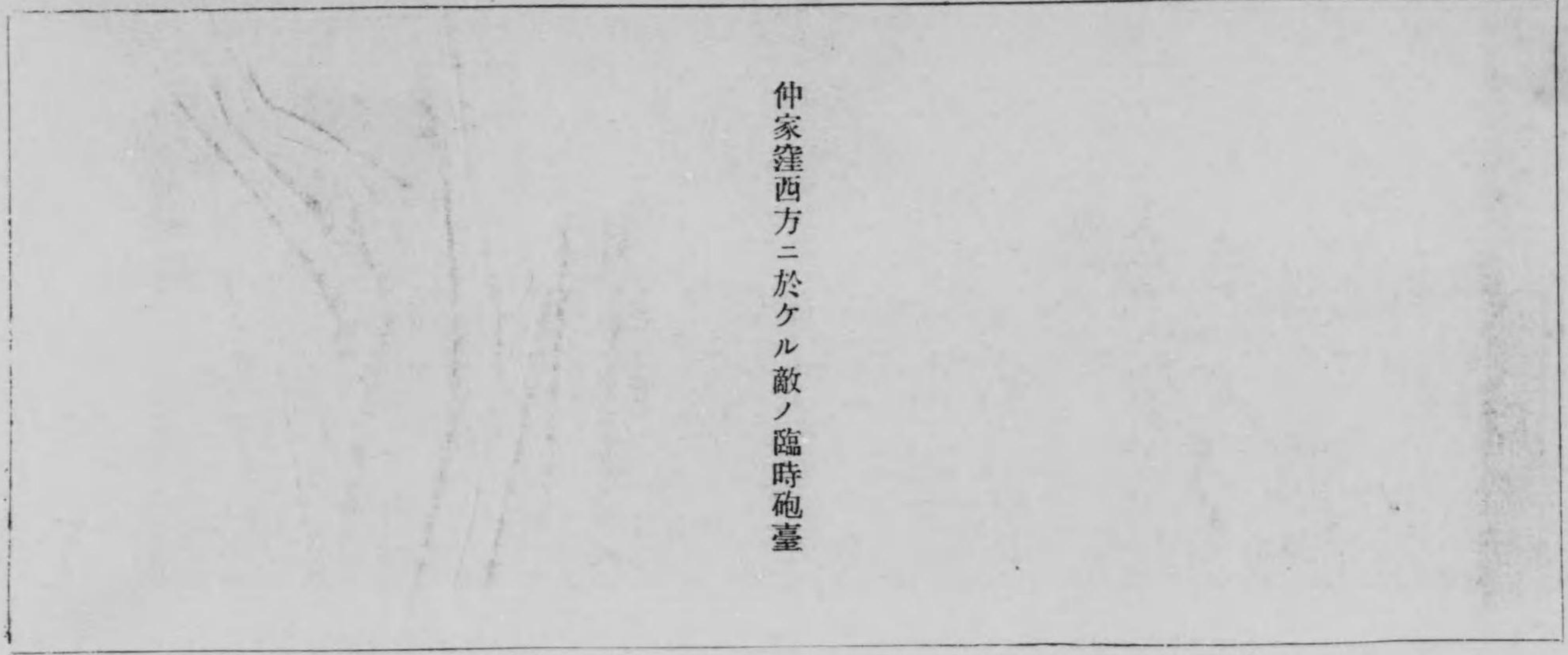


其二

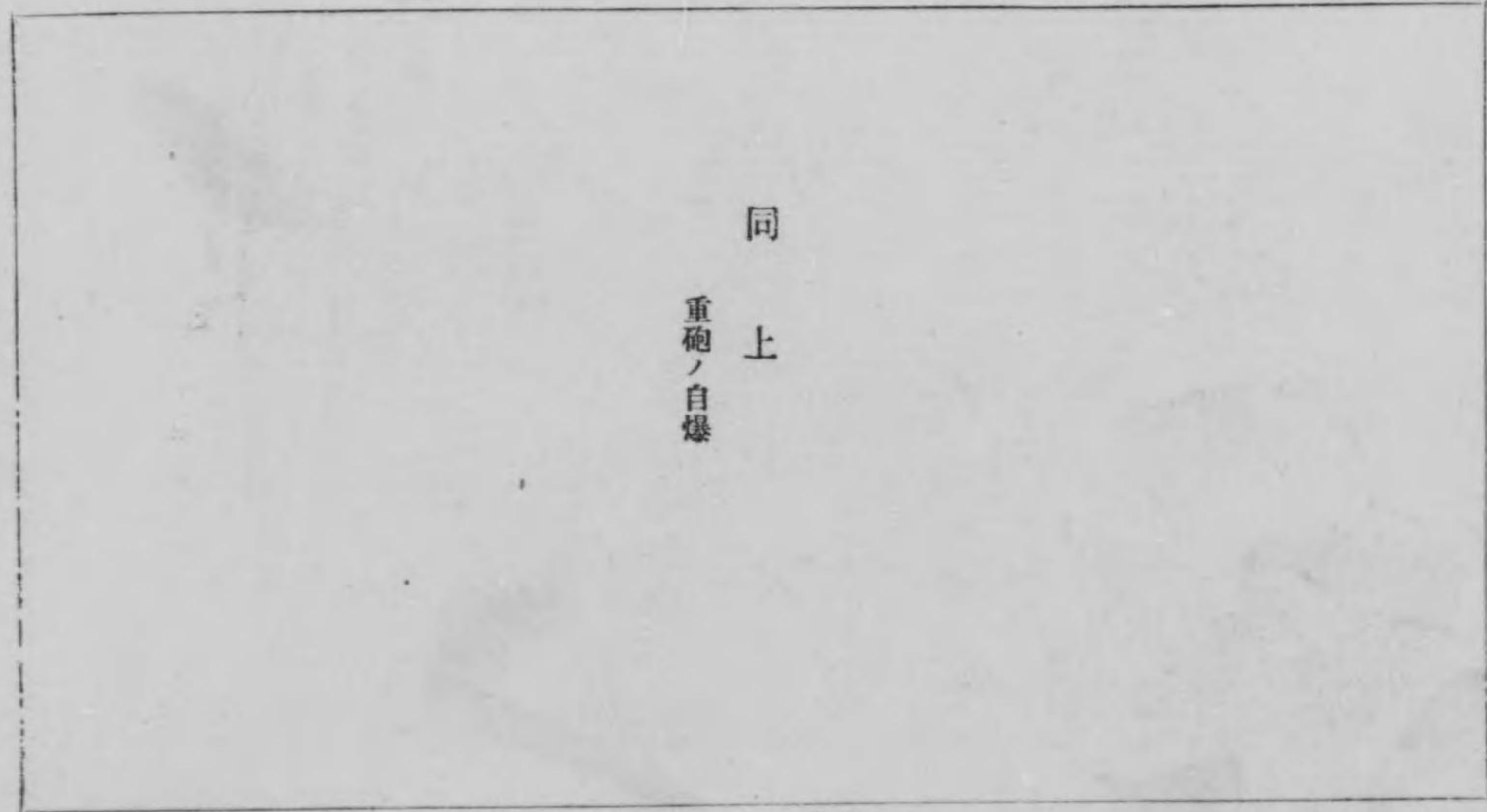
其一







仲家窪西方ニ於ケル敵ノ臨時砲臺



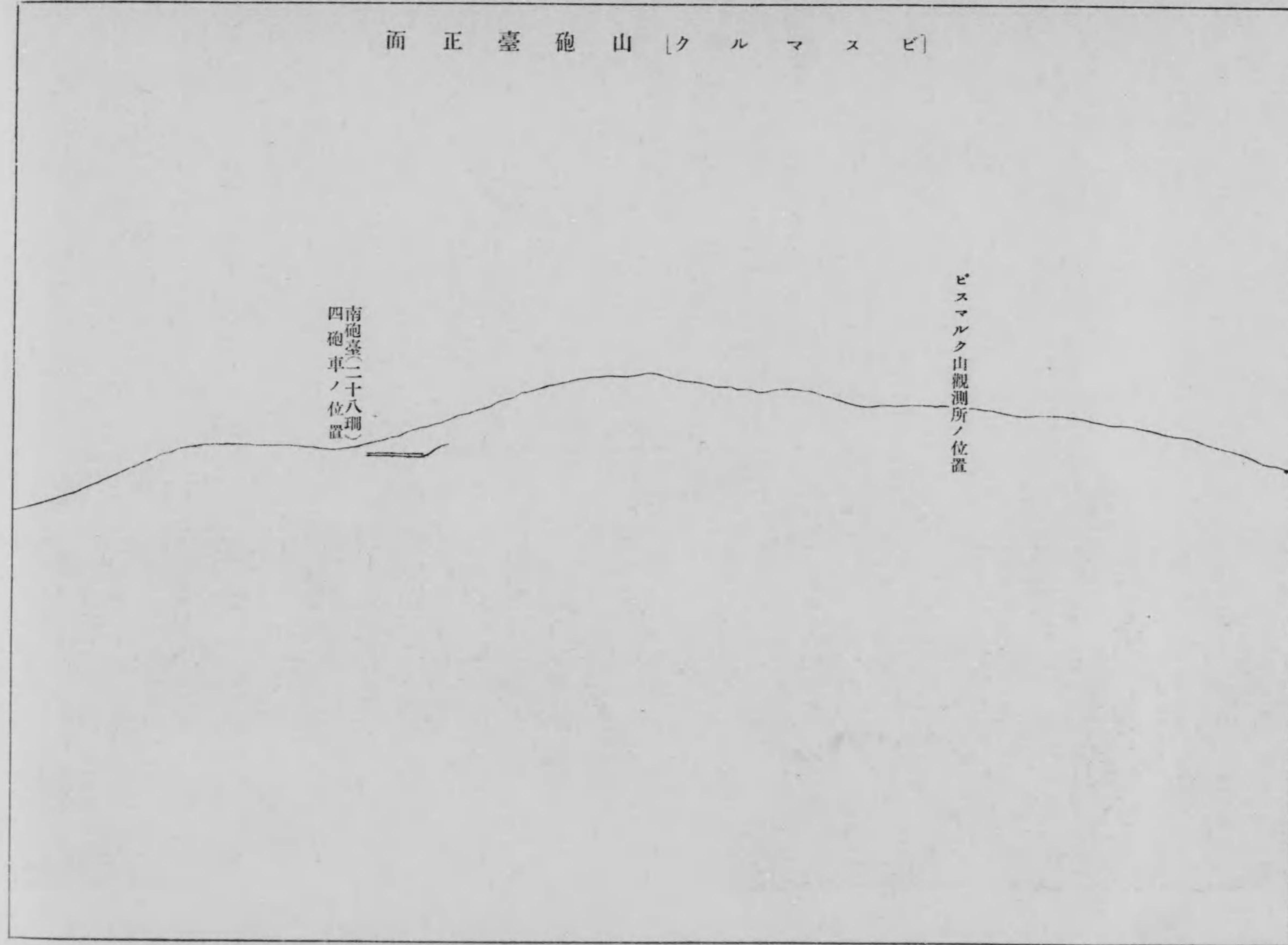
同上
重砲ノ自爆



仲家窪砲臺樓息掩蔽部



面正臺砲山 [クルマスビ]



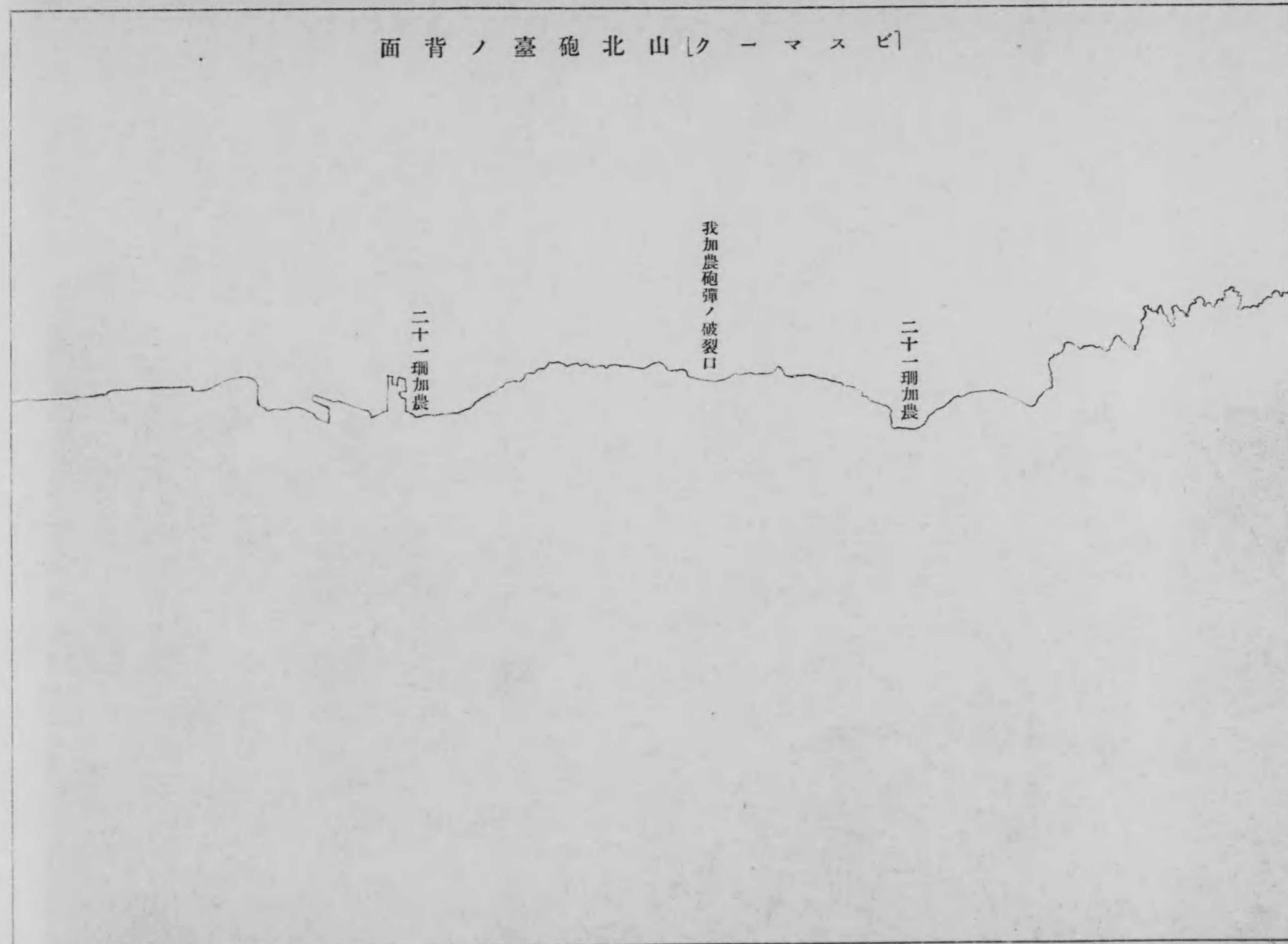
南砲臺(二十八
四砲車ノ位置)

ビスマルク山観測所ノ位置





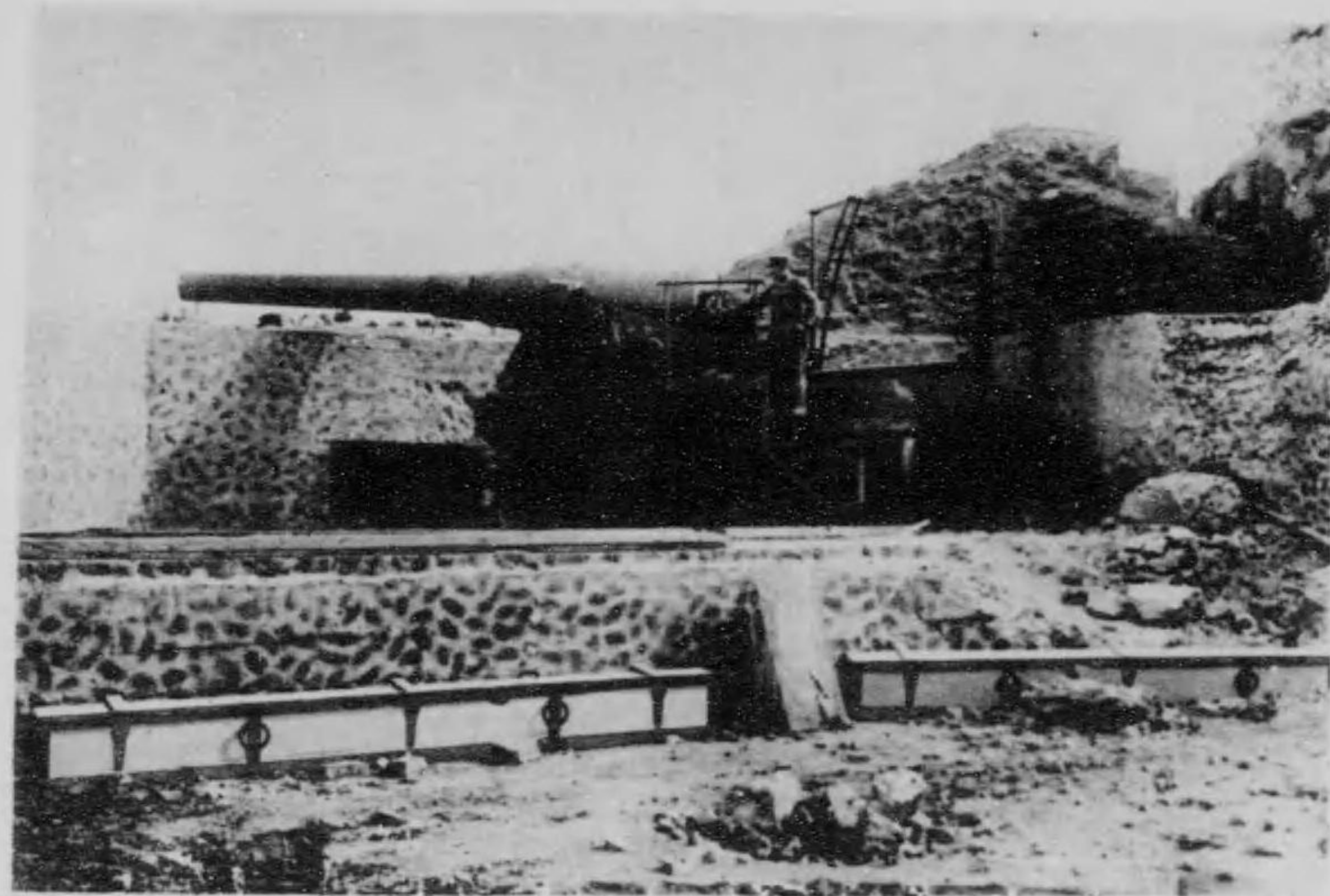
面背ノ臺砲北山[クーマスビ]





「ビスマーク」北砲臺觀測所

「ビスマーク」山北砲臺ニ於ケル敵ノ
重砲



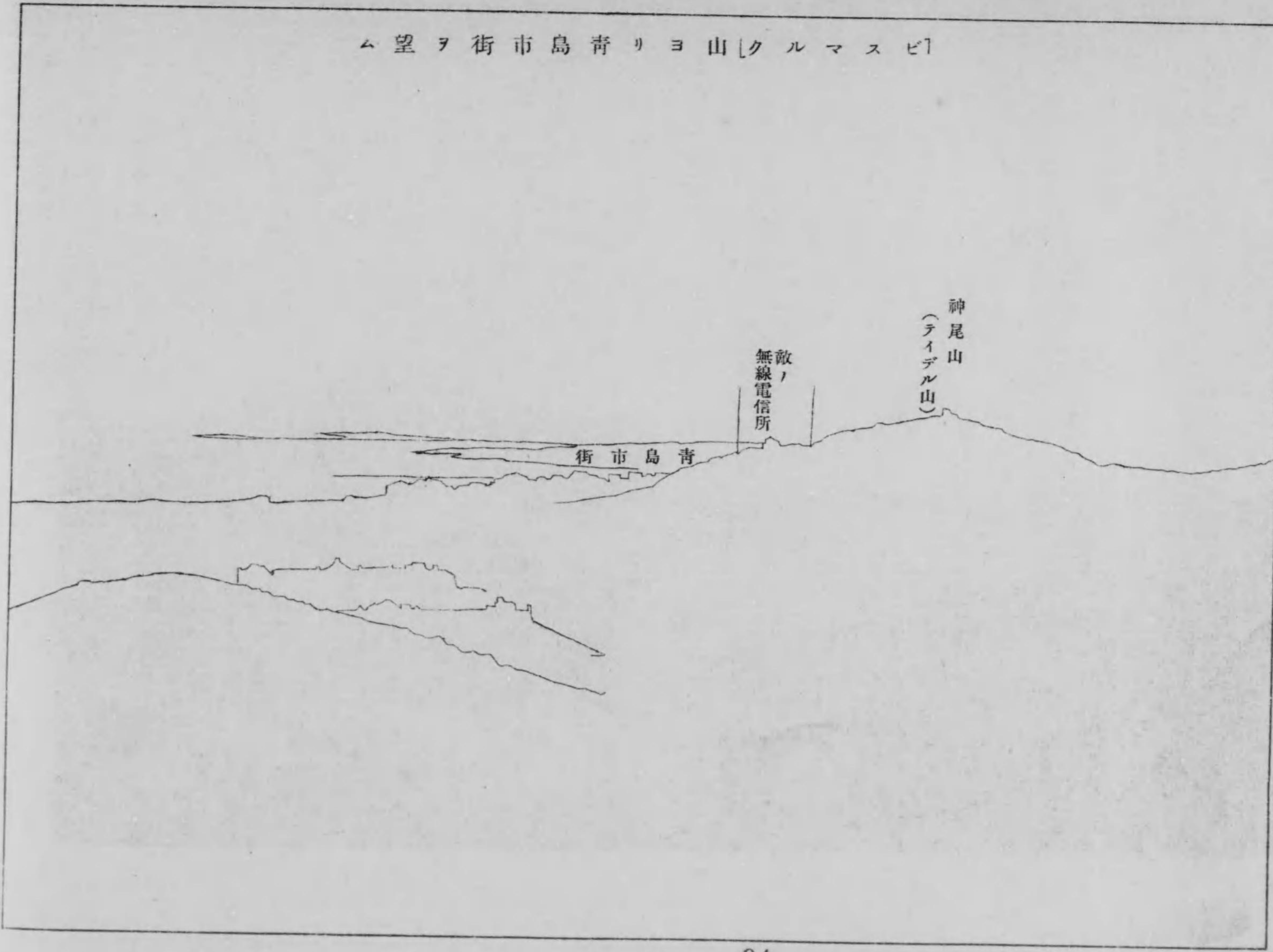
況 景 ノ 爆 自 臺 砲 南 山 ク ー マ ス ビ

敵ハ降服前ニ於テ器材ヲ自ラ破壊シ我軍ノ爲メ鹵獲
セラル、コトナカラシム圖ハ其一ナル「ピスマーク」
山砲臺ニ於ケル備砲並ニ砲塔ナリ



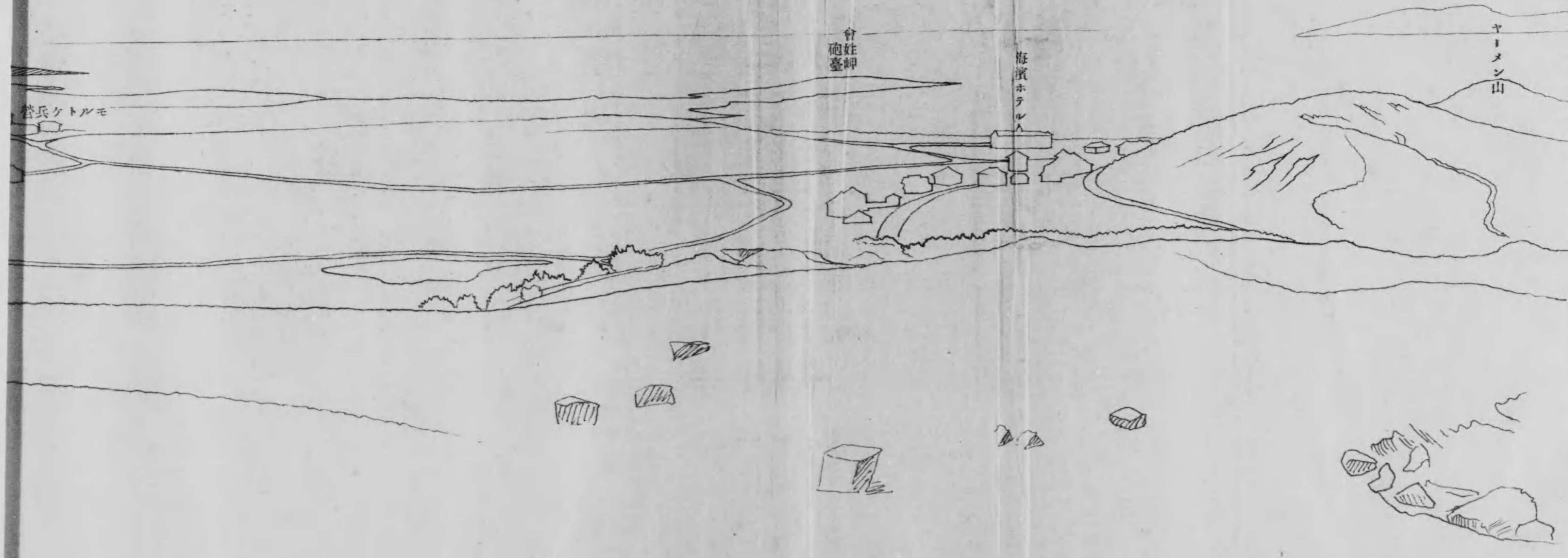


ム望ヲ街市島青リヨ山[クルマスビ]

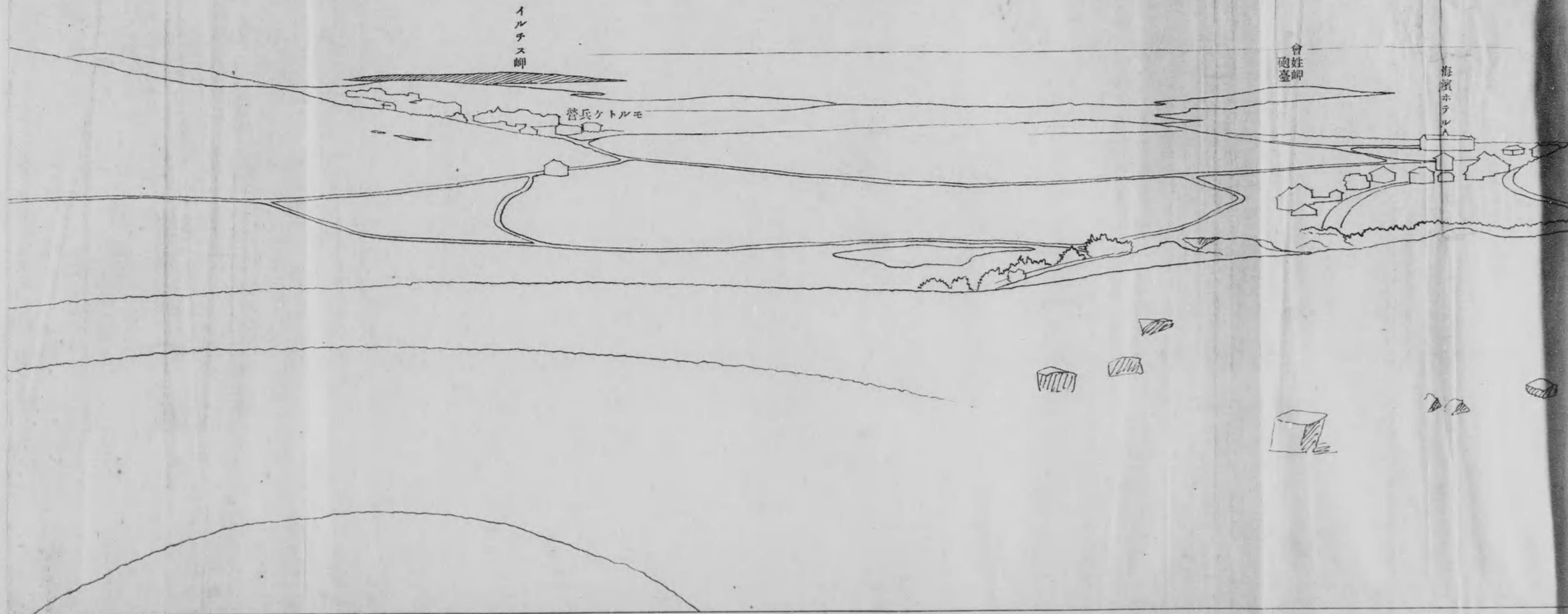


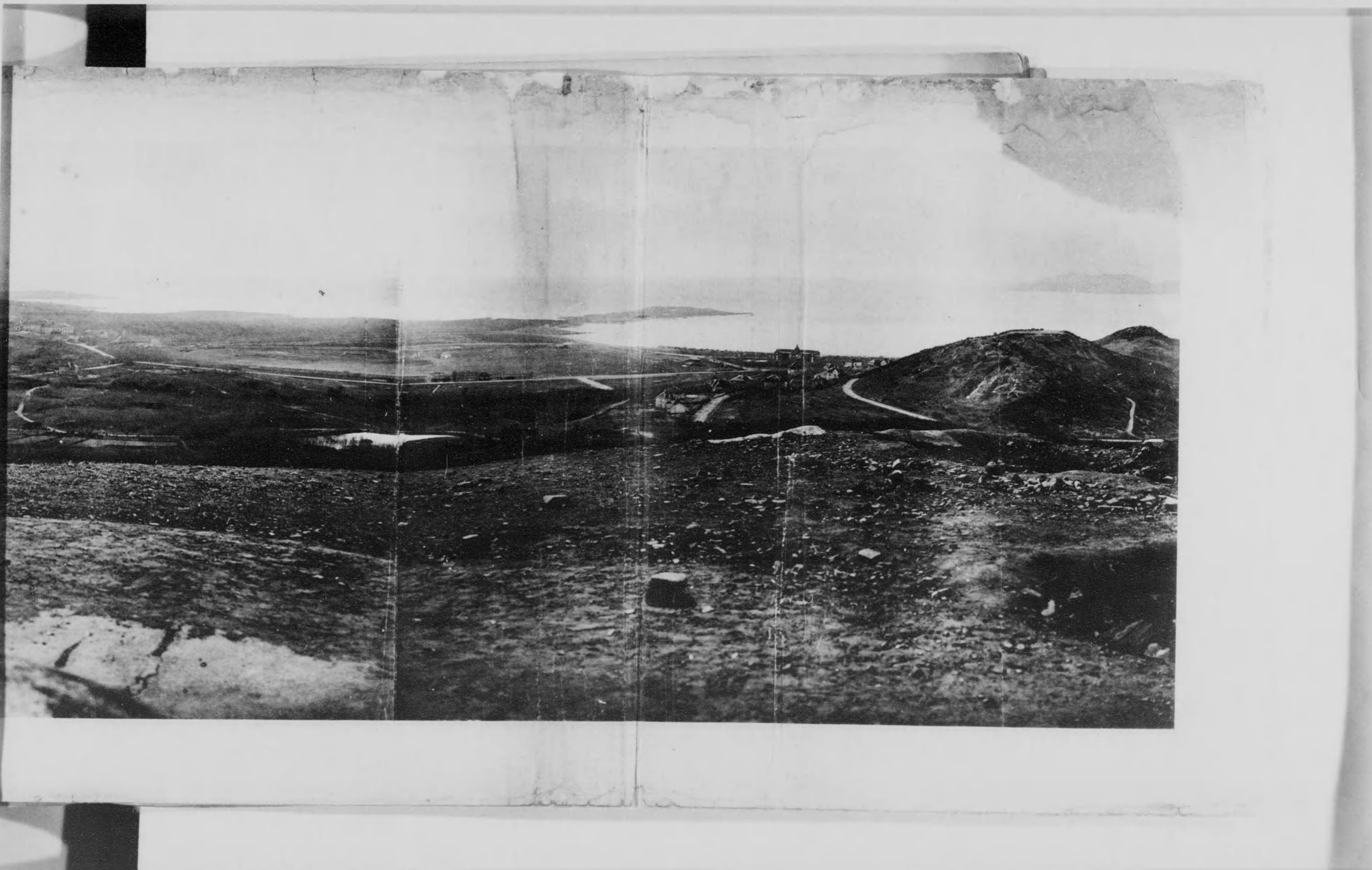


ス望観ヲ園四リヨ頂山クルマスピ
一 其

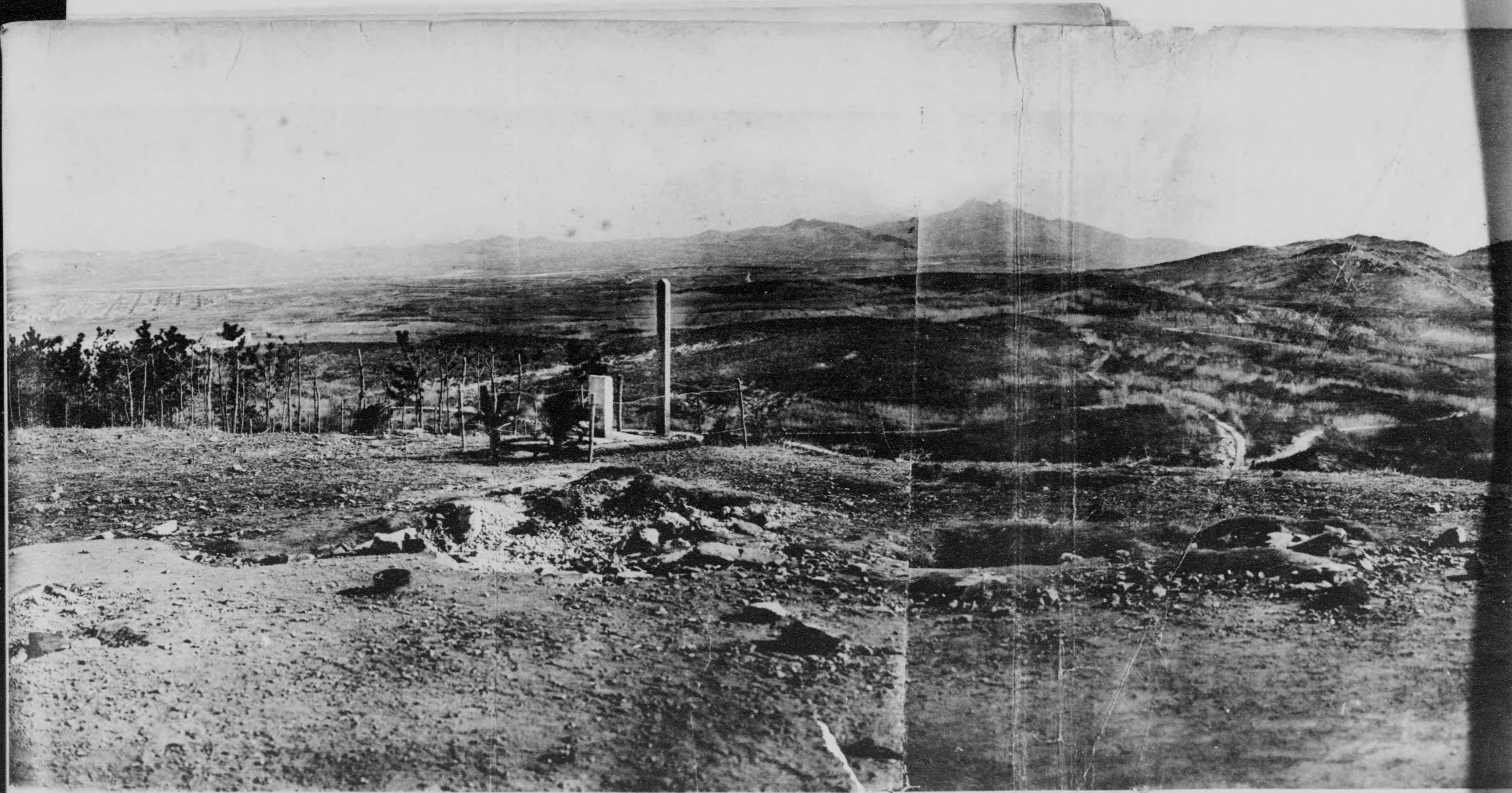


ス望観ヲ園四リヨ頂山クルマスビ
一 其







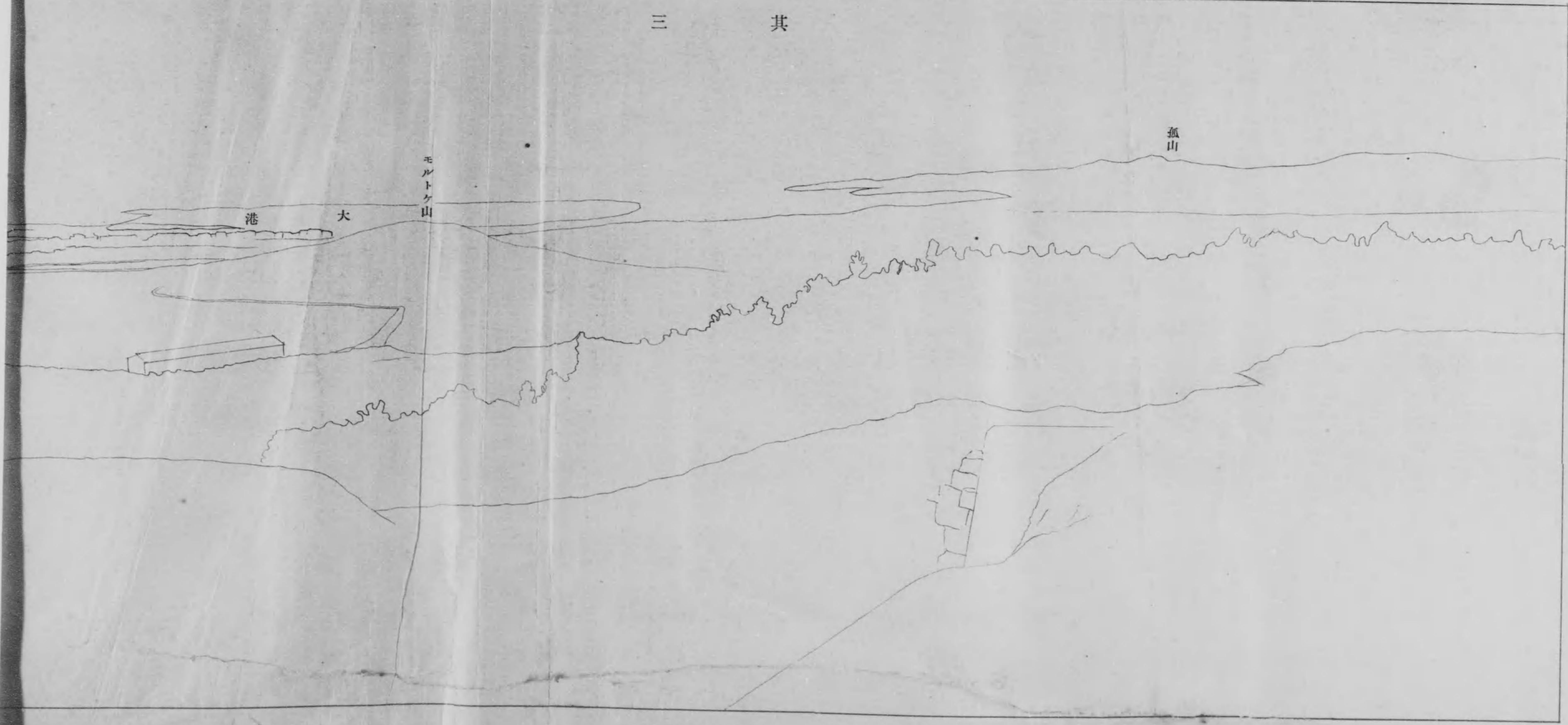


三 其

孤山

大 港

モルトケ山



其

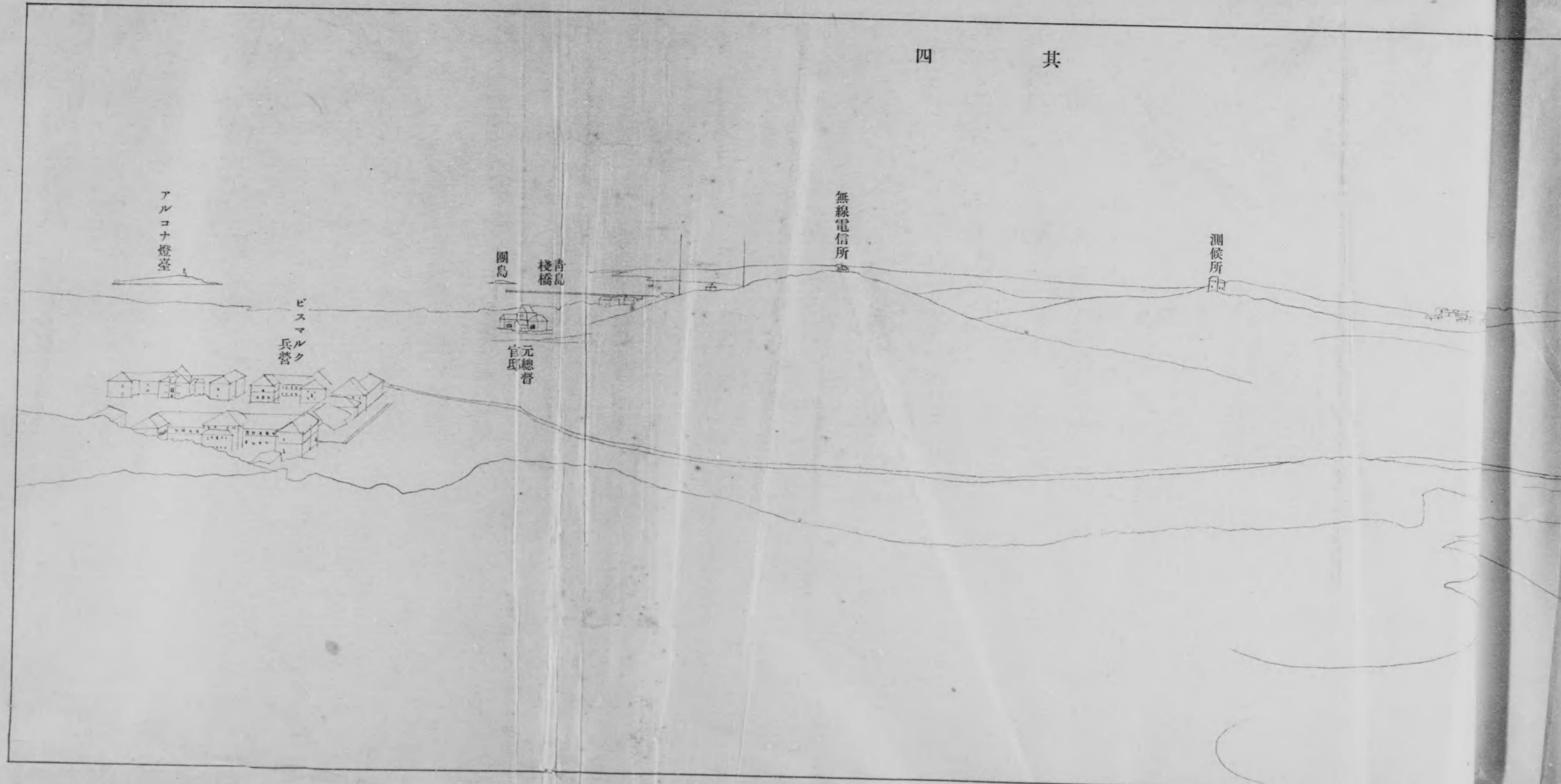
測候所

大港

モルトケ山

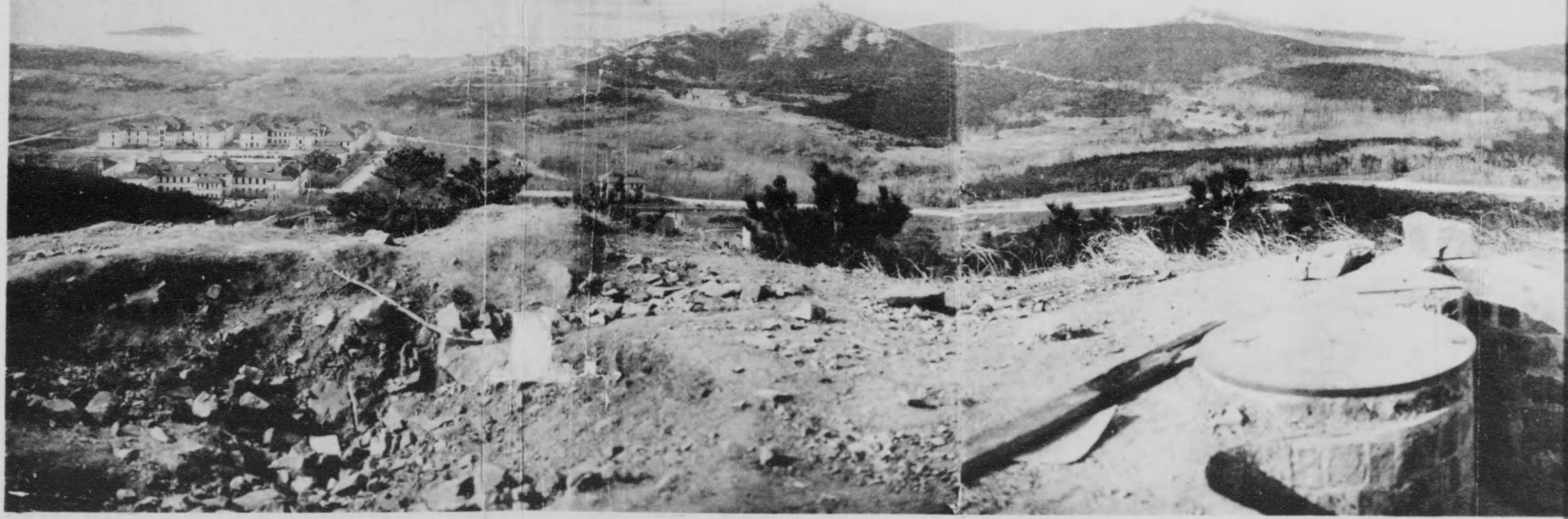


其 四





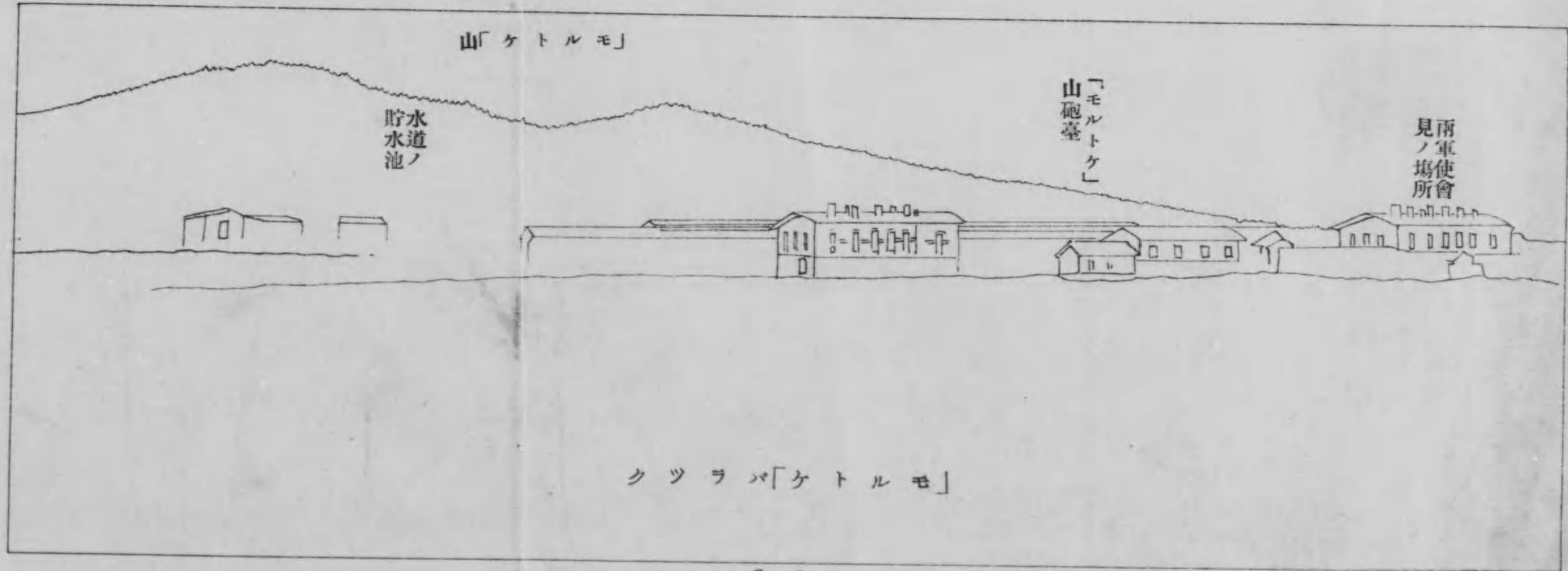


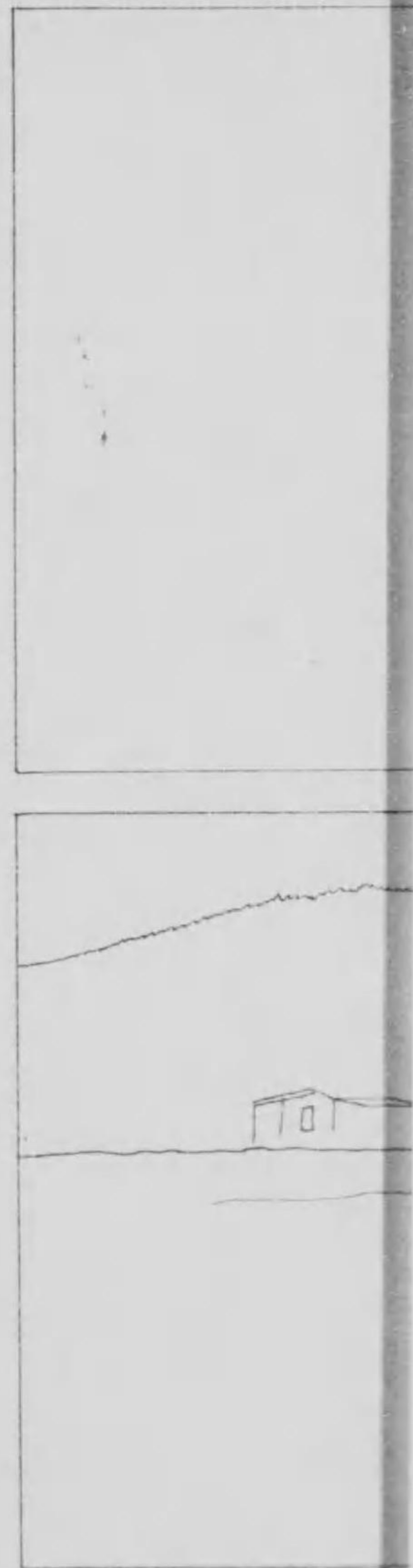


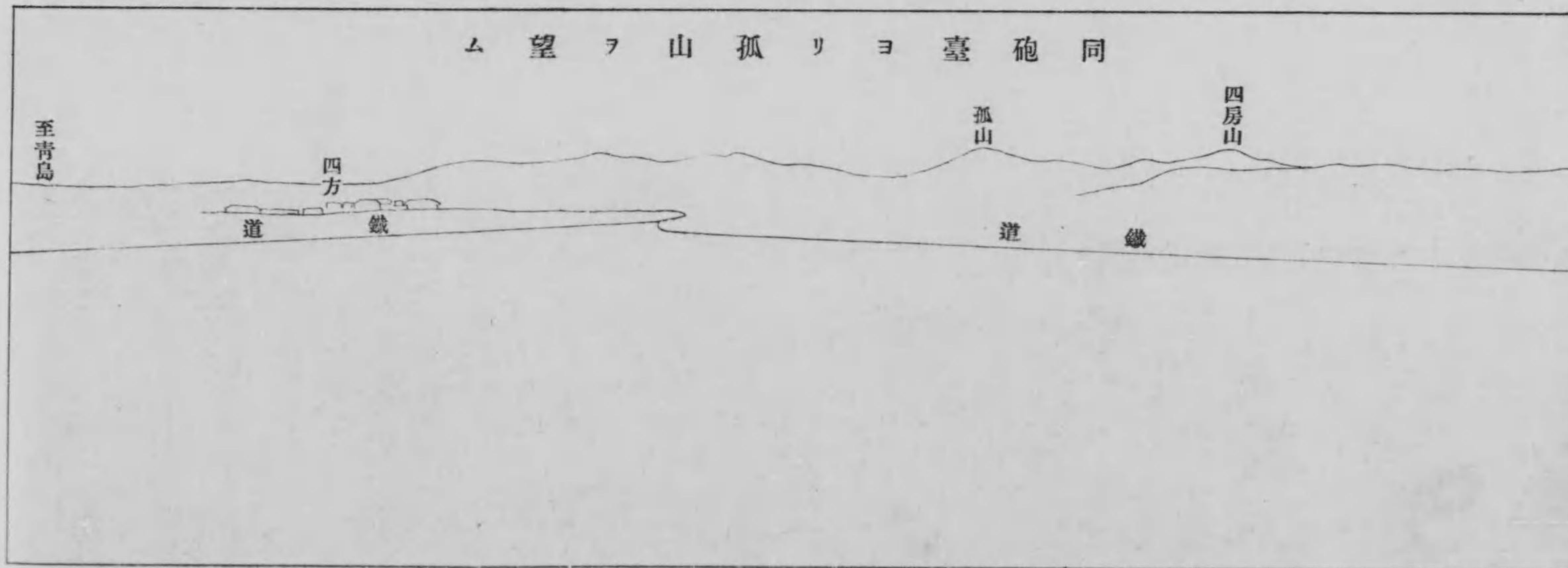
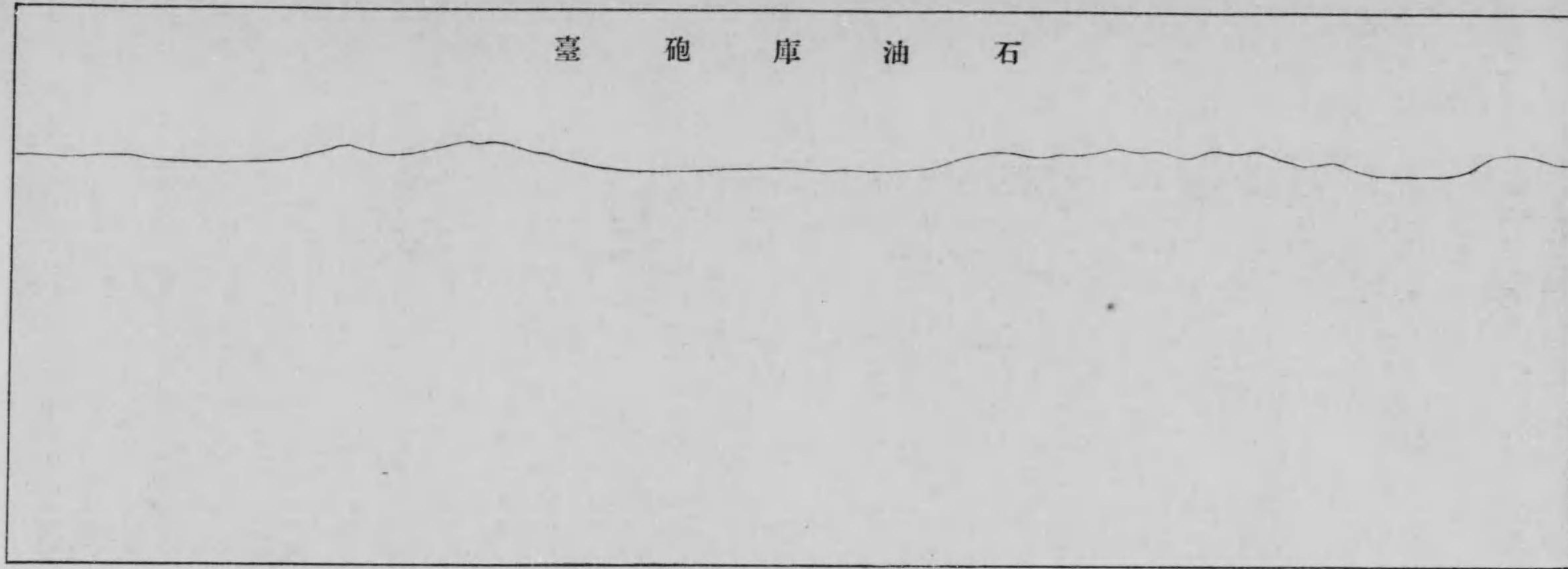


「モルトケ」山砲臺ノ一部

故陸軍砲兵中尉從七位勳六等功四級
 野戰砲兵第二十四聯隊小隊長、大正
 三年十一月十二日「モルトケ」兵營北
 方砲臺危險物整理服務中不發彈破裂
 ノ爲メ傷死ス
 繩手可夫









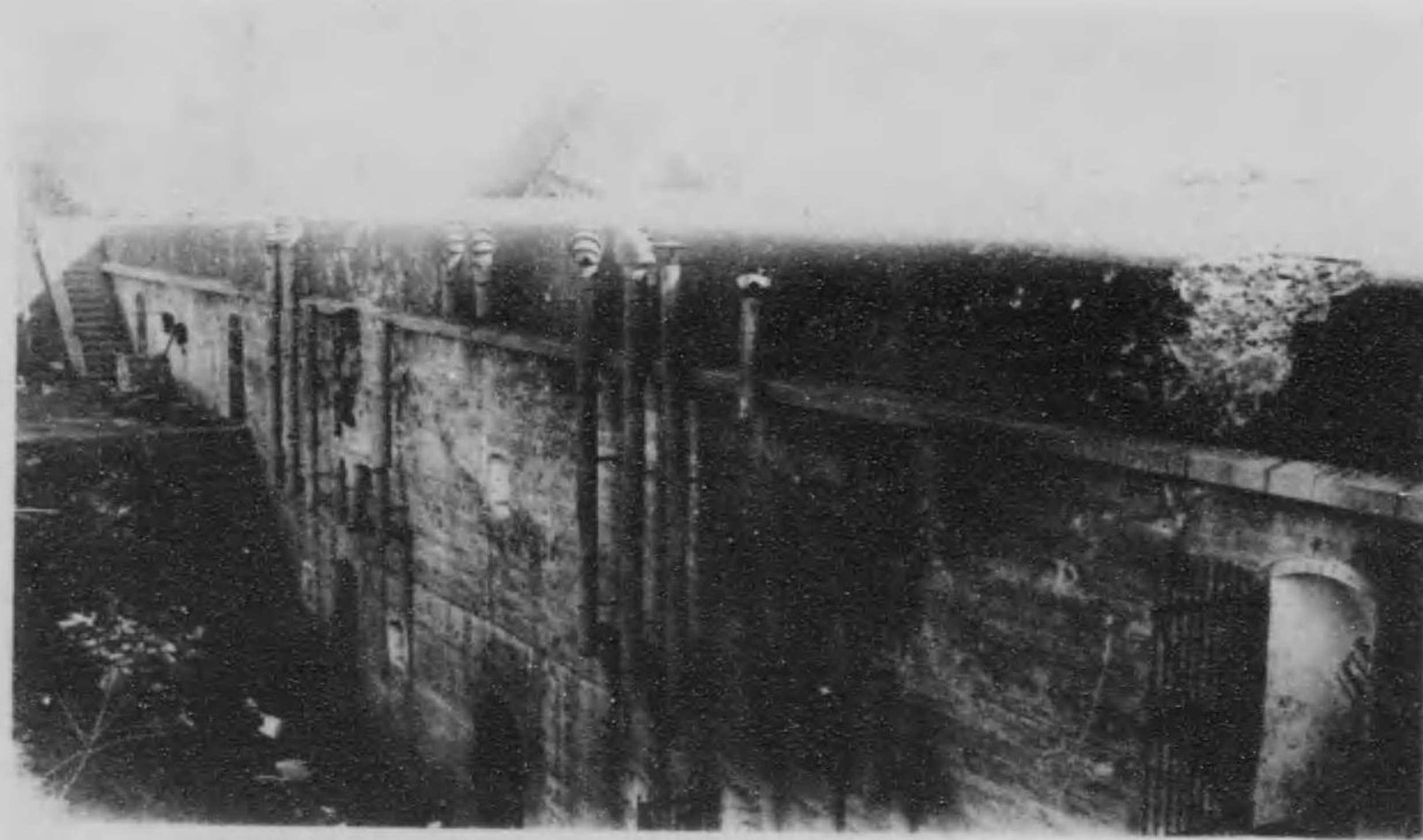
至青島

道

會姓岬砲臺
其一

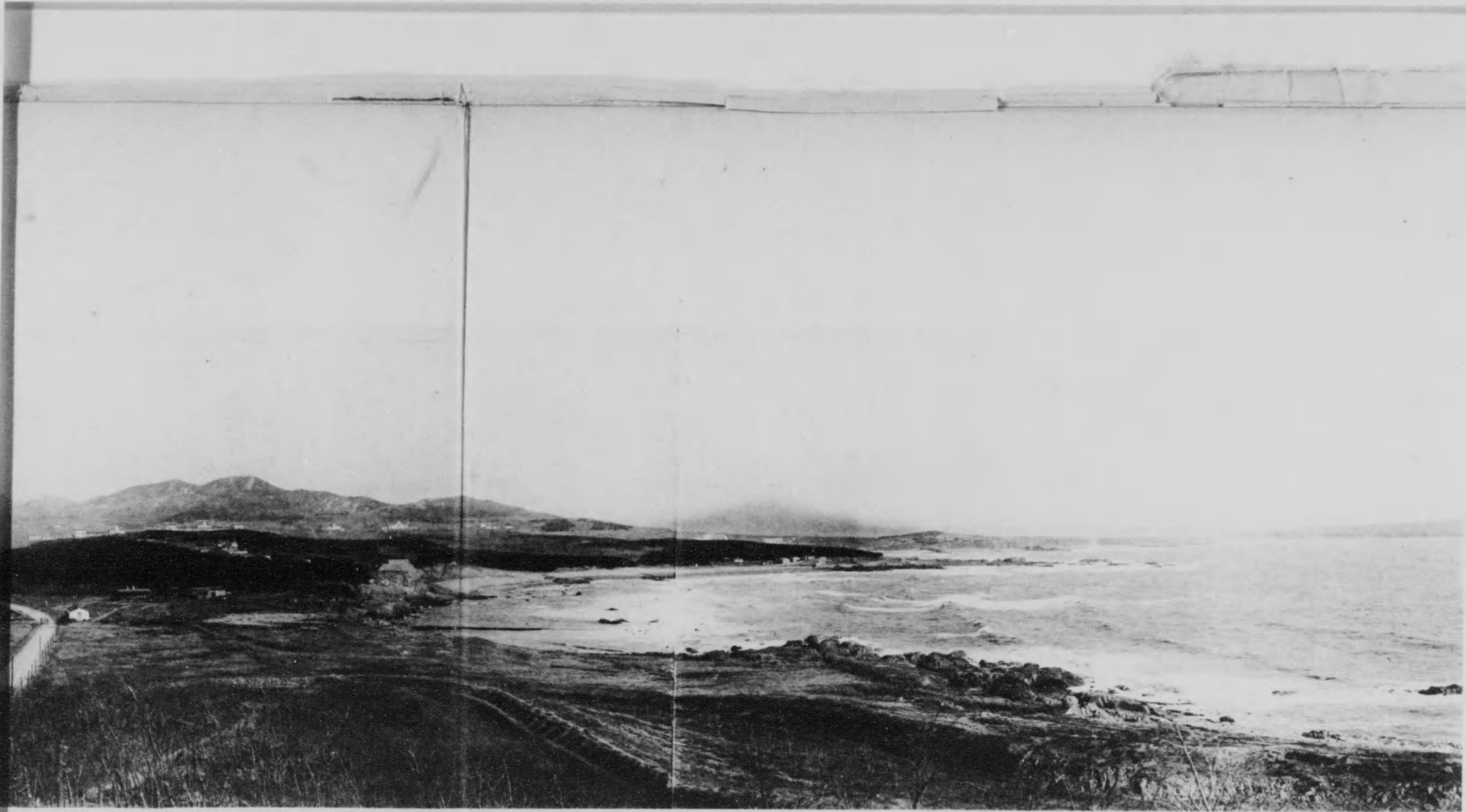
其三

其二



會姓岬砲臺ヨリイルチス山及ビス
マルク山ヲ望ム

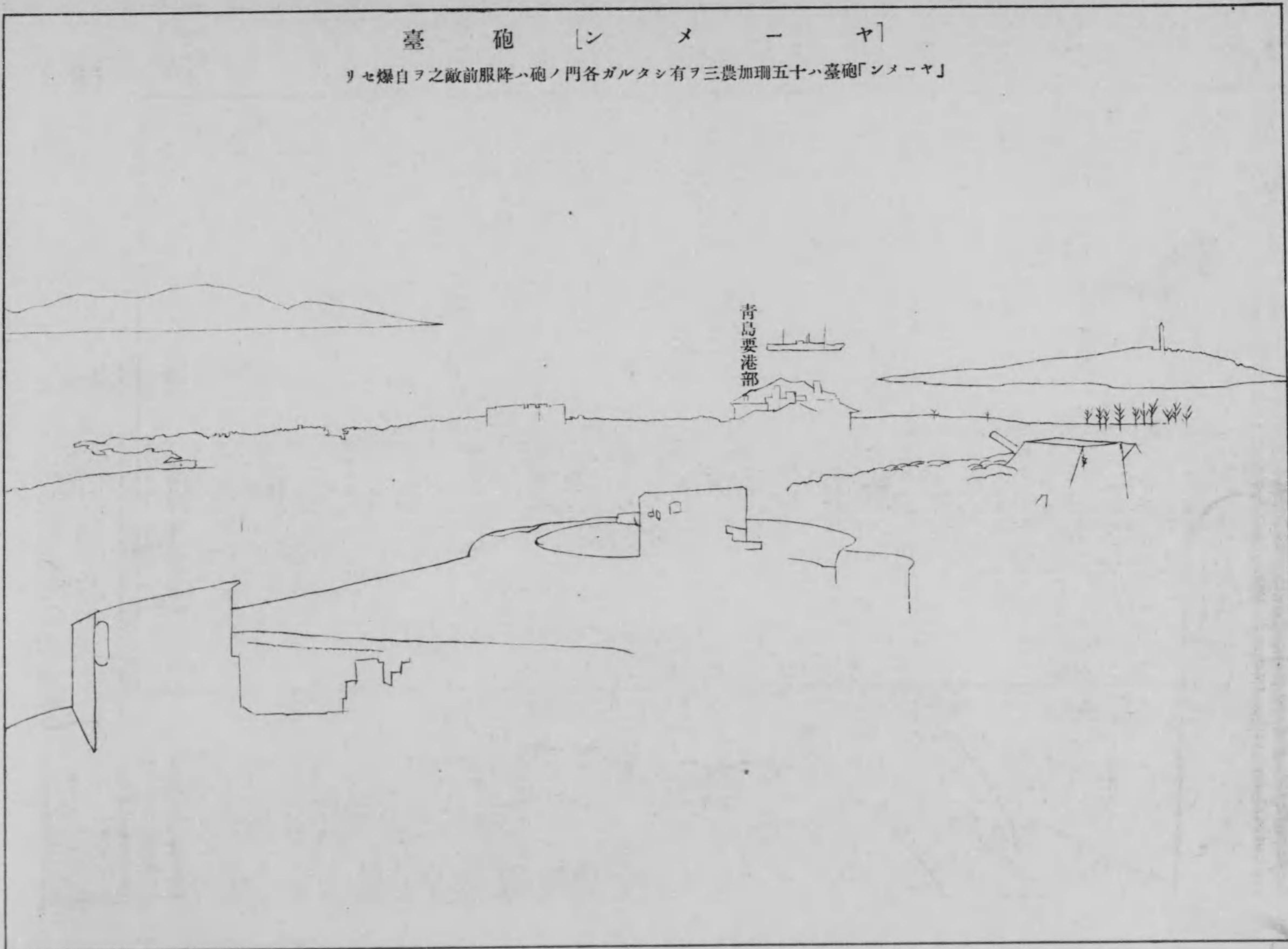
會姓岬砲臺ヨリイルチス山及ビス
マルク山ヲ望ム

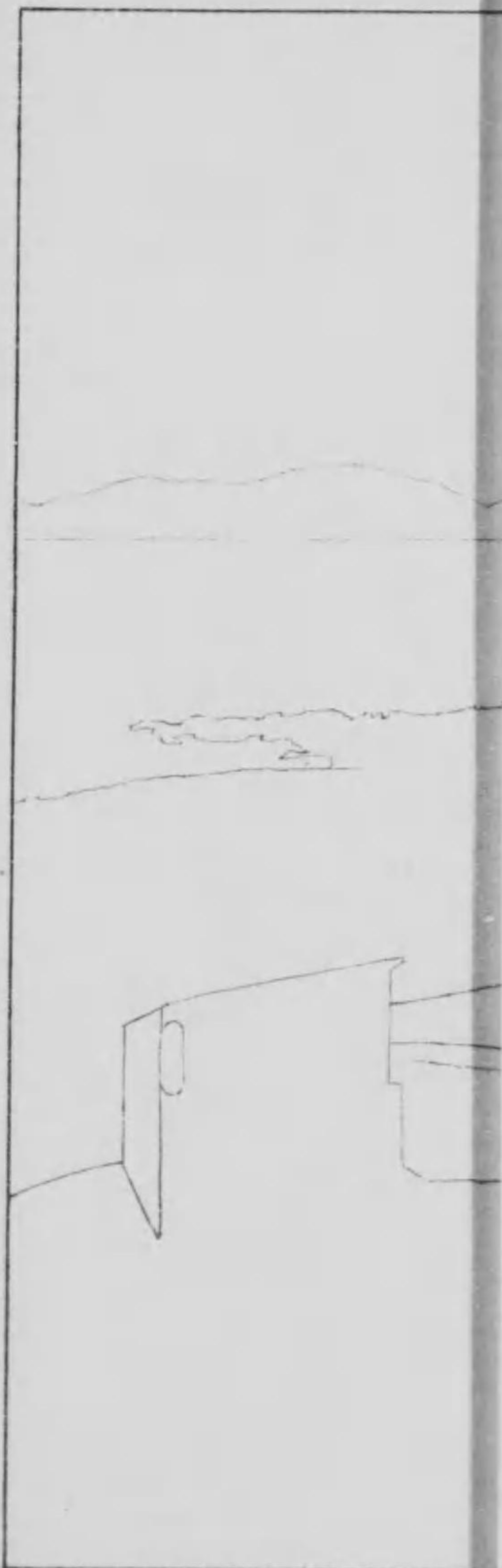
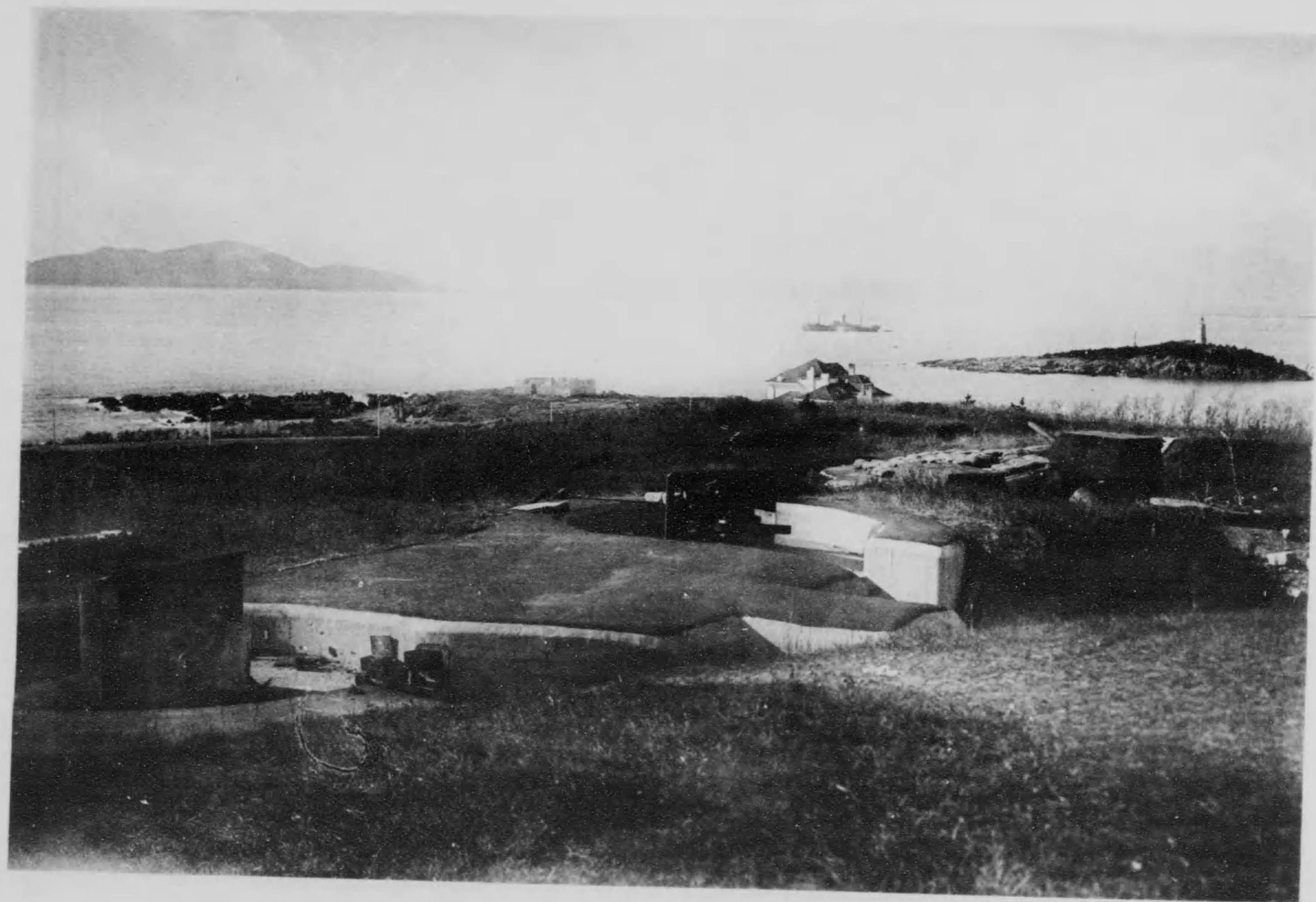


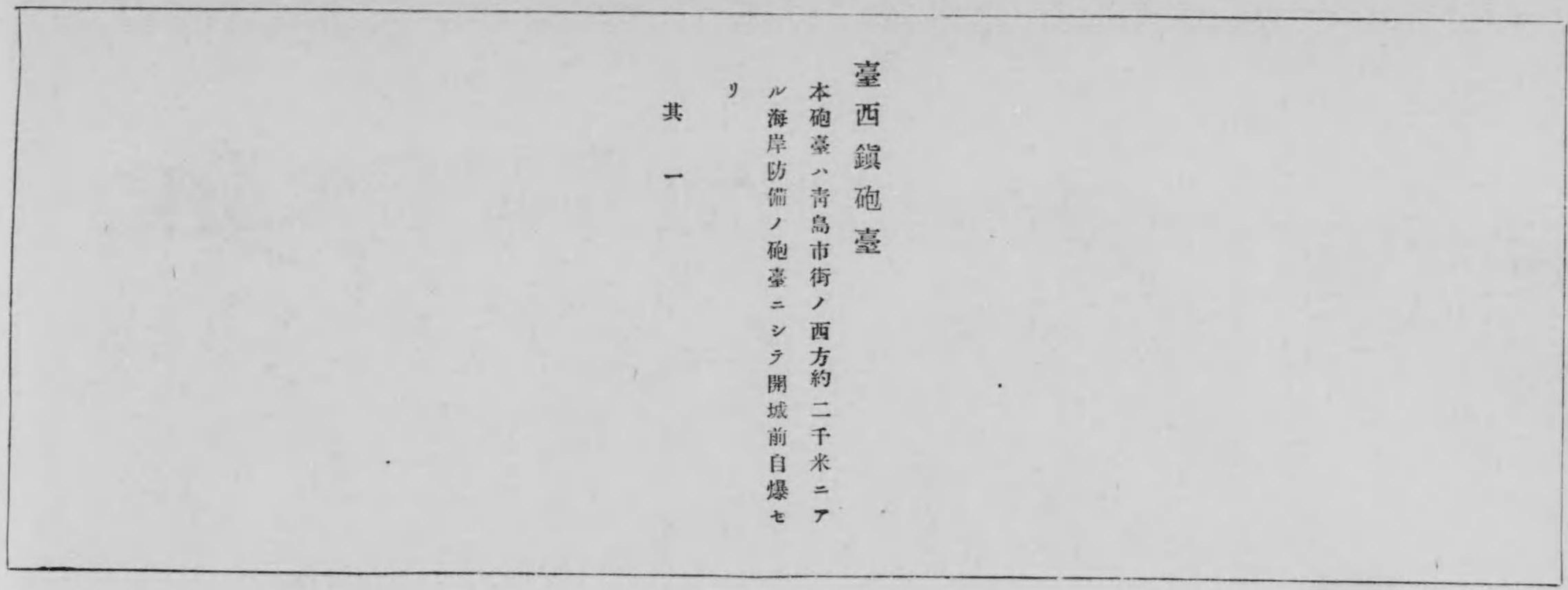
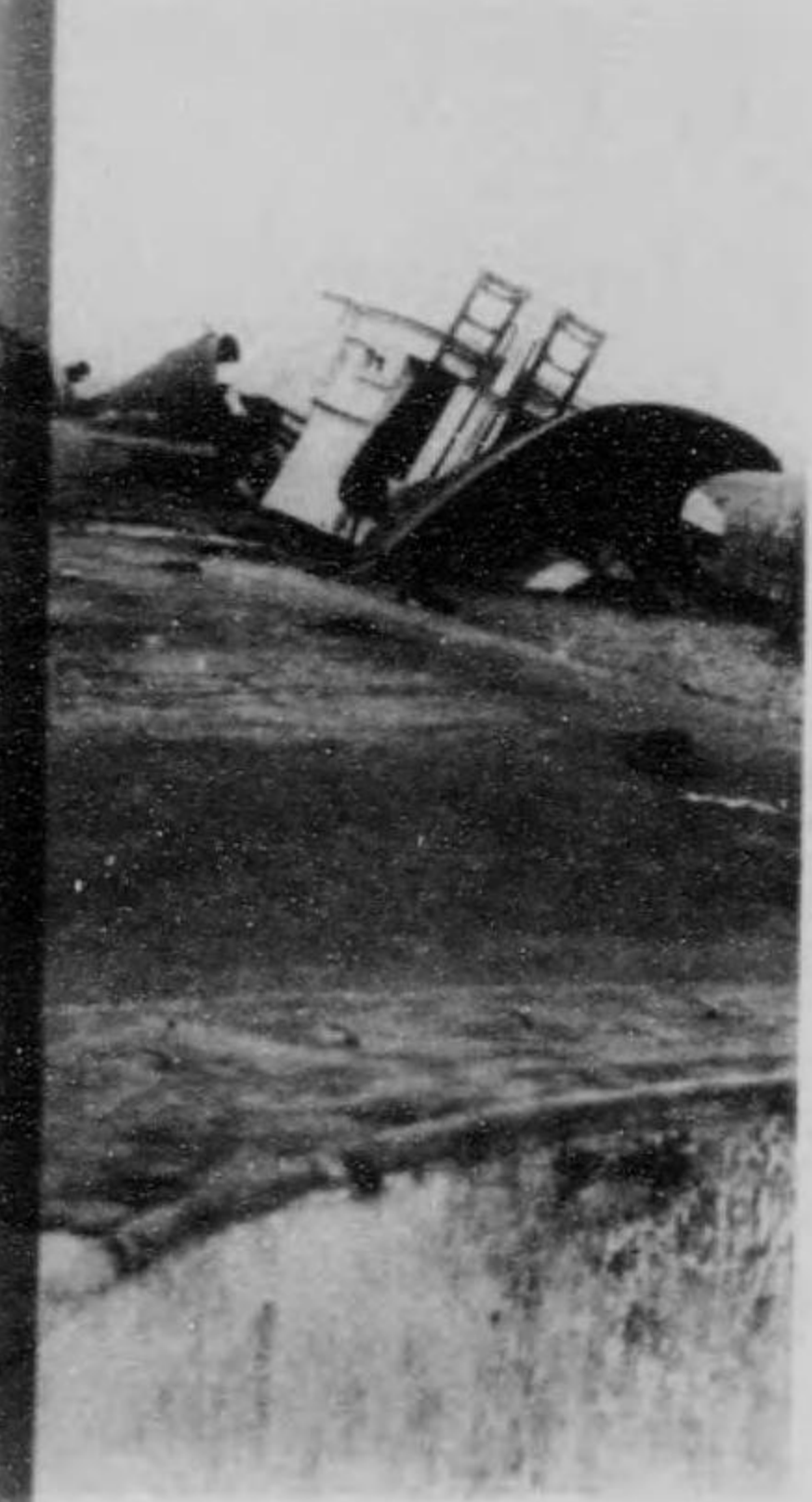


臺 砲 [シ メ ー ヤ]

リセ爆白ヲ之敵前服降ハ砲ノ門各ガルタシ有ヲ三農加珊五十ハ臺砲「シメーヤ」



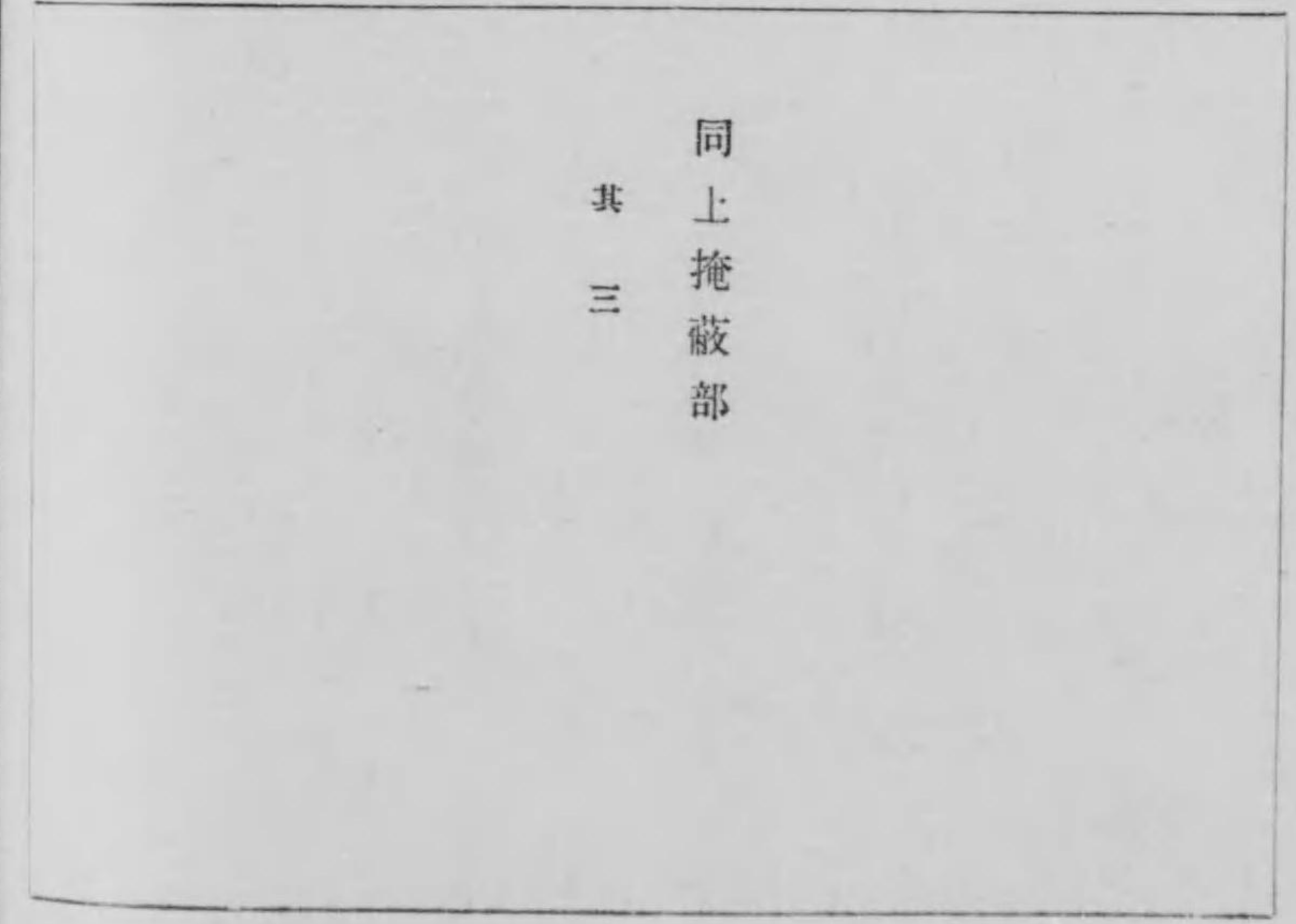




臺西鎮砲臺

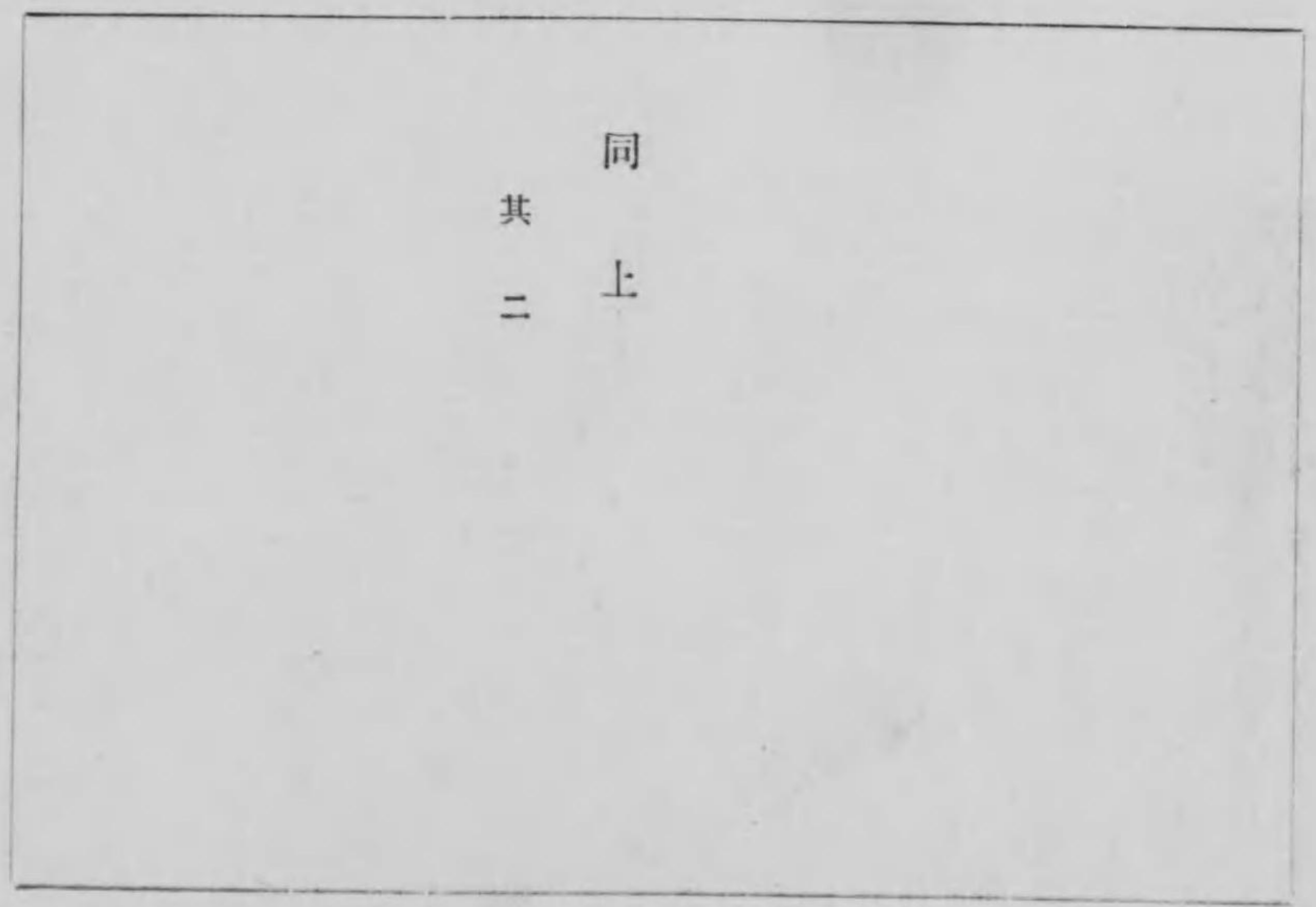
本砲臺ハ青島市街ノ西方約二千米ニア
ル海岸防備ノ砲臺ニシテ開城前自爆セ
リ

其
一



同上掩蔽部

其
三



同
上

其
二



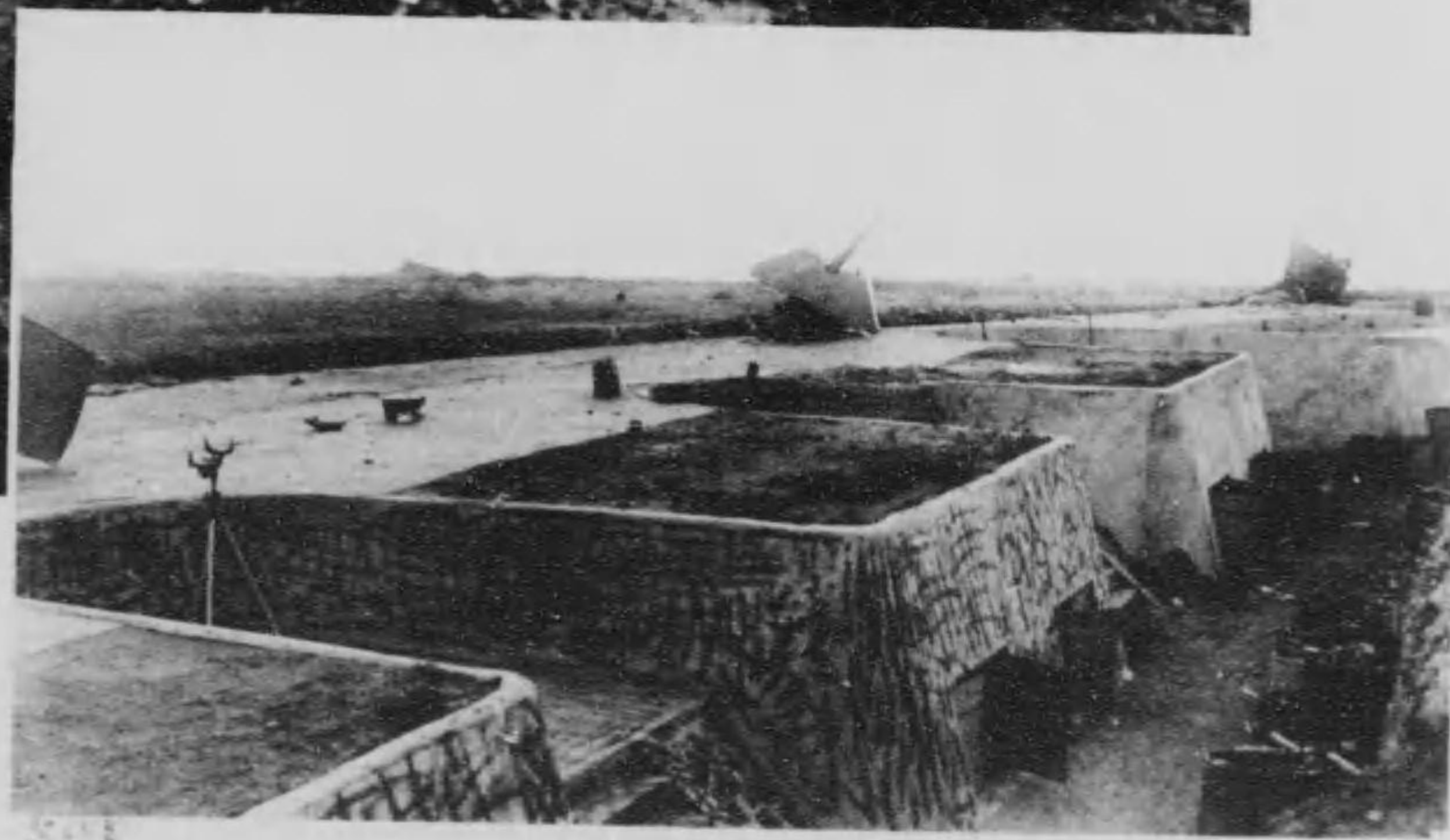
同上掩蔽部
其三

自爆セル團島砲臺

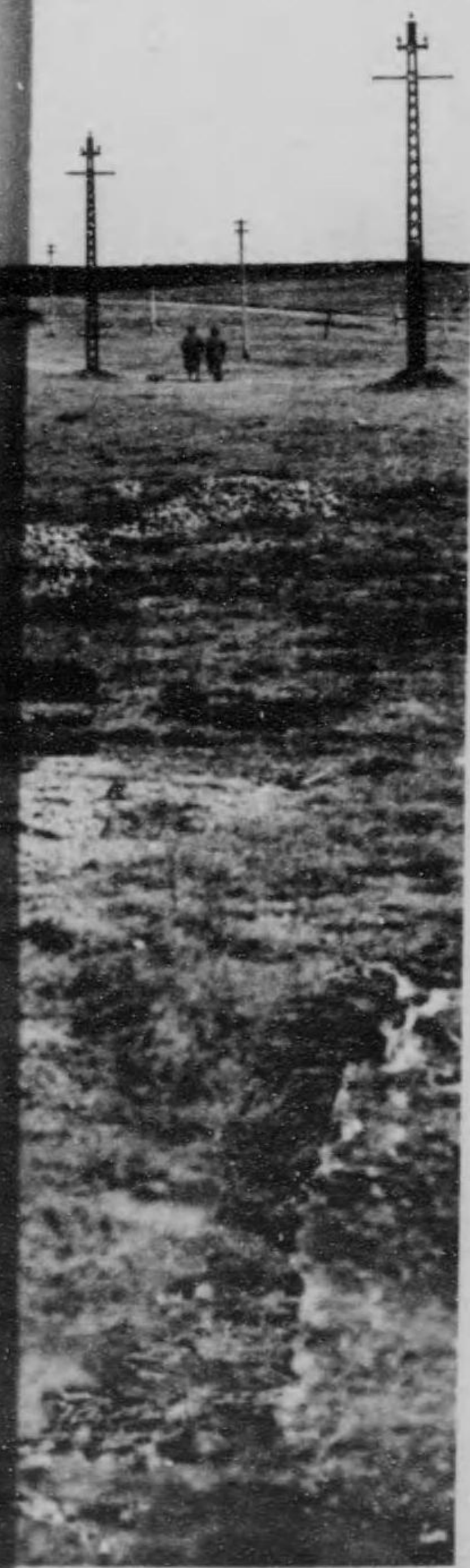
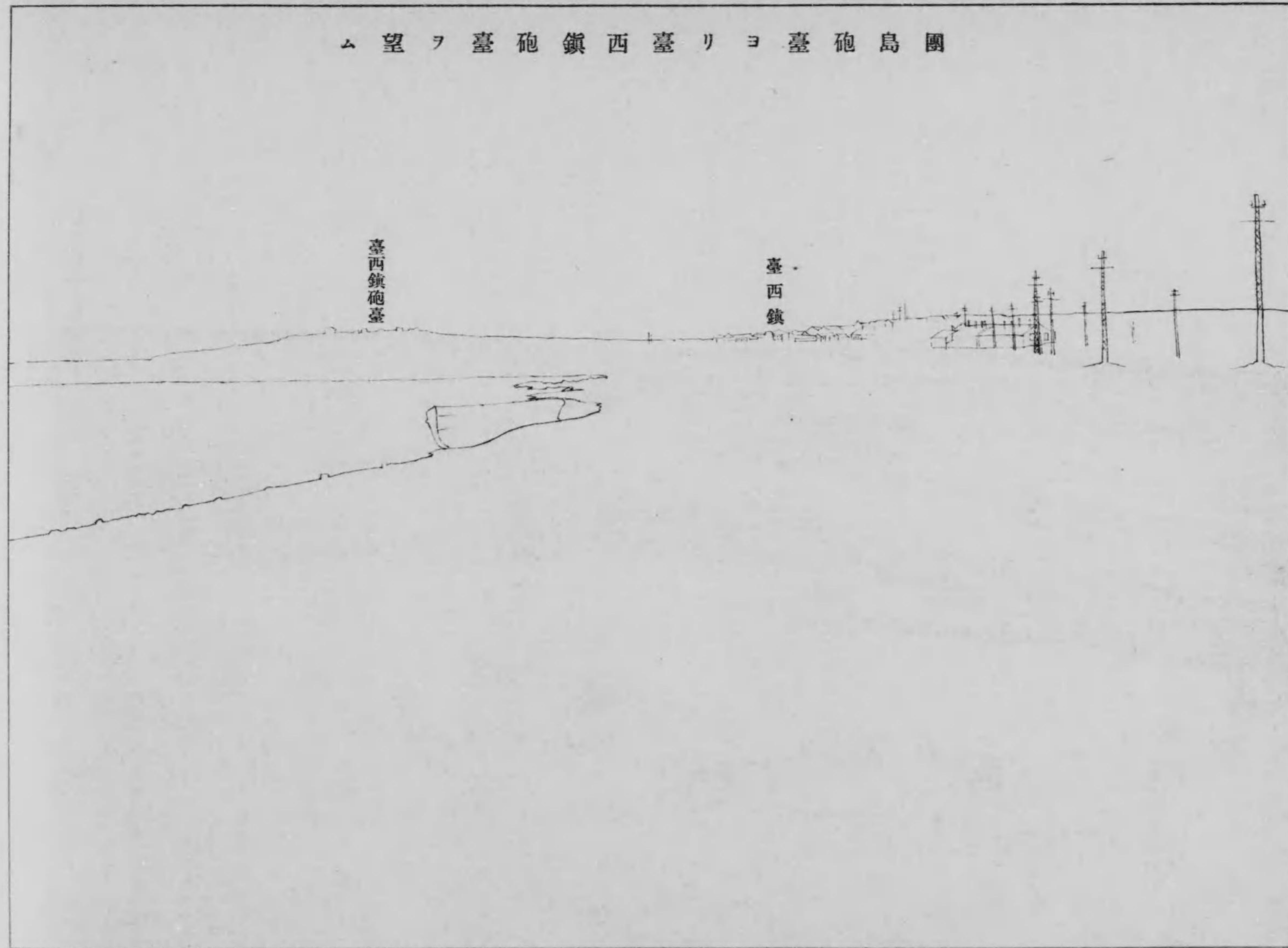
其一

同上

其二



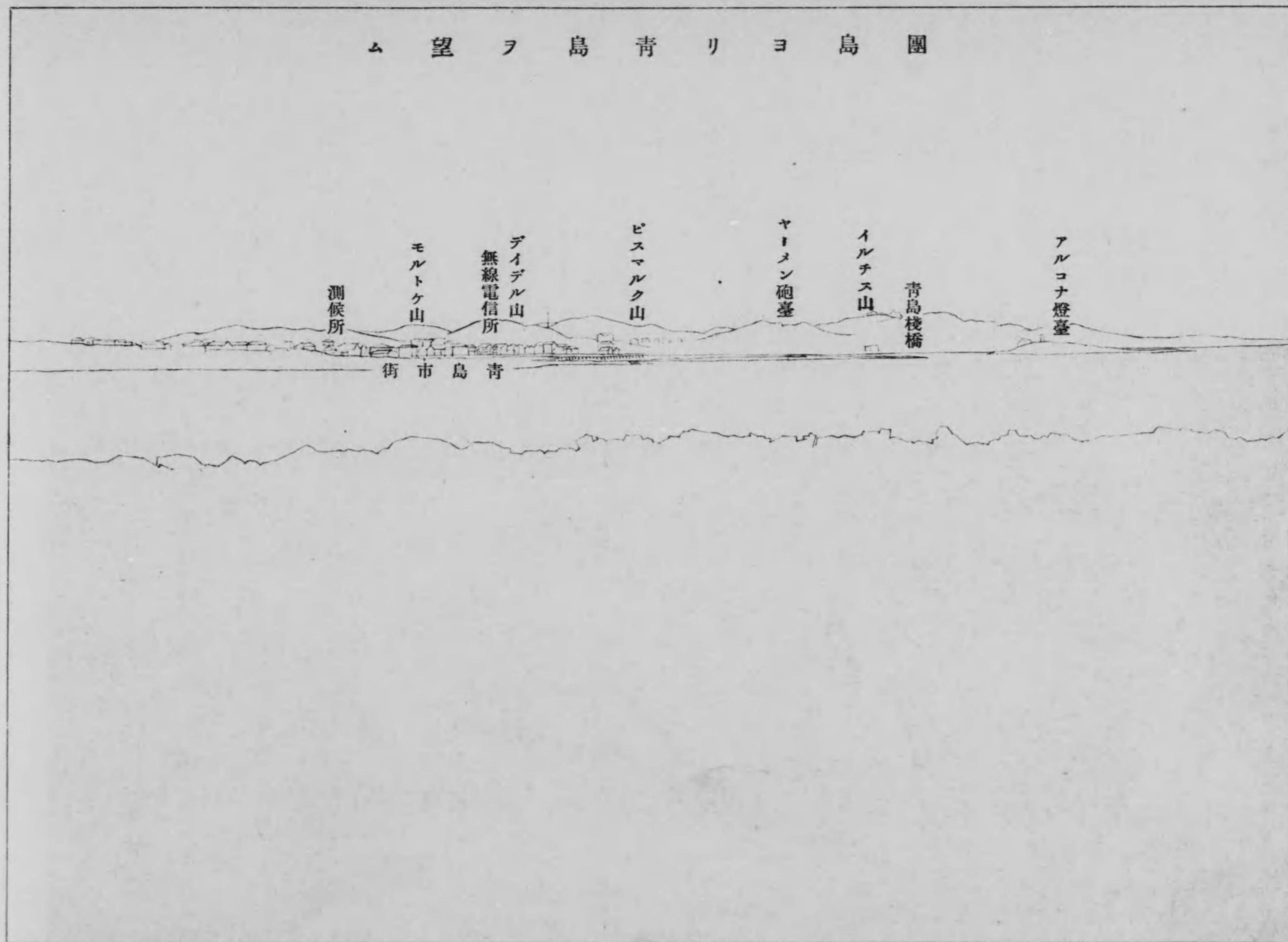
團島砲臺ヨリ西鎮砲臺ヲ望ム





101

ム 望 ヲ 島 青 リ ヨ 島 團





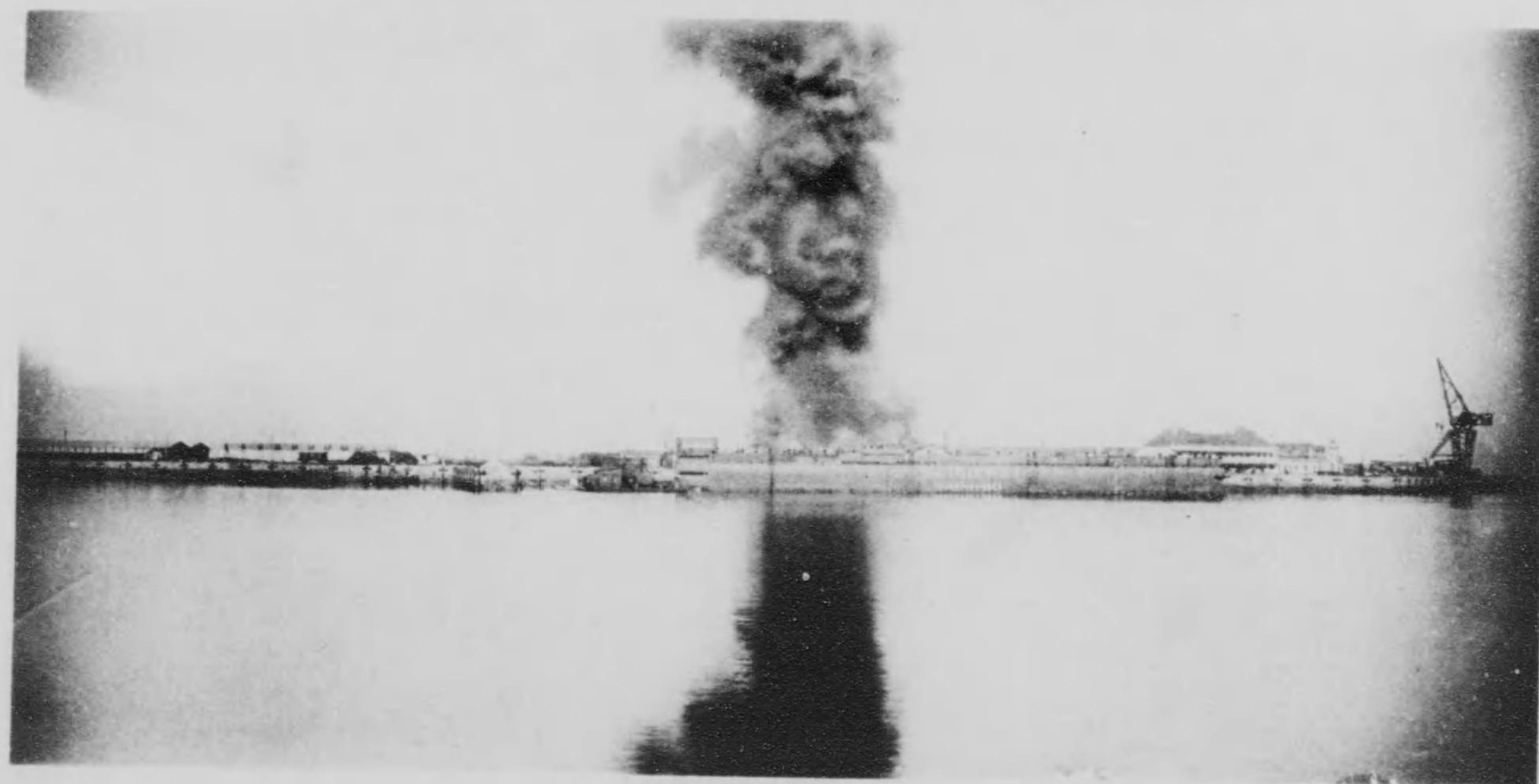
大正三年十月三十一日砲擊開始
ニ於ケル石油タンクノ火災
遠望

其 一

同上

本寫真ハ當日獨人ノ撮影セルモノヲ後
ニ至リ發見セシモノナリ

其 二



十一月七日青島占領當日浮山
後南方地隙師團司令部ニ於ケ
ル祝盃

同臺東鎮東堡壘上ニ於ケル歩
兵第四十八聯隊ノ祝盃

測候所

敵ハ降伏ニ當リ七日朝先ヅ此測候所ノ
橋頭ニ白旗ヲ掲ゲタリ

同
室
内

モルトケ兵營ニ於ケル軍使會見所



同
室
内

デイレリツヒ岩

上部獨文ハ皇國ノ爲メ此地一帯ヲ獲得セル提督ノ名ヲ採リ此岩ヲ「デイレリツヒ」
岩ト命ス又下部ハ千八百九十七年十一月十四日デイレリツヒ提督ハ此地ニ於テ膠
州地方ヲ占有ストノ意ナリ蓋シ獨逸ガ青島ヲ領有シタル唯一ノ記念碑タリシナリ
我軍青島ヲ占領スルヤ直チニ大正三年十一月七日ナル九字ヲ刻シテ以テ占領ノ記念
トナスト同時ニ此岩ノ在ル「デイレリツヒ」山ヲ辟尾山ト改稱セリ





DER HIER FÜR
ICH IH
SEI DIE SER FÜR
WISER WARB
RIKINNS
DITIGISSIT
DITIGISSIT

AM 11. NOV. 1897
ROHRT AN DIE SER STEL
ER ADMIRAL VON KAUTSCH
SITZ VON KAUTSCH
DITIGISSIT

臺東鎮ニ於ケル俘虜將校

此等將校ハ獨軍ノ作戰ニ參與セル幹部ニシテ特ニ 聖上陛下ノ思召ニ依ツテ佩劍ヲ
許可セラレタルモノナリ

神尾山無線電信通信所

我軍占領後デイーデル山ヲ神尾山ト名
付ク圖ハ該山上ニ在リシ無線電信通信
所ヲ敵ノ自爆セルモノナリ

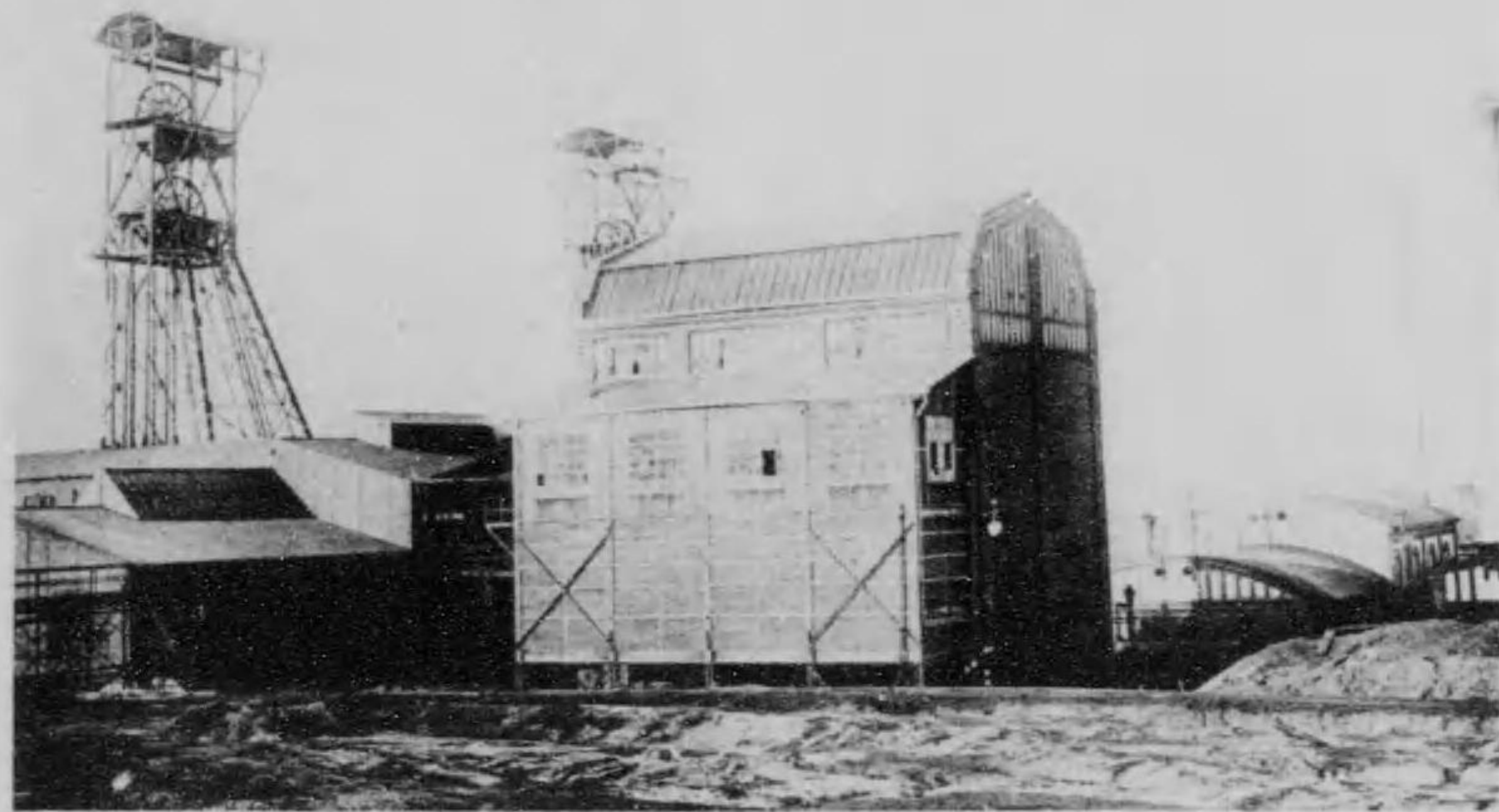
臺東鎮ニ於ケル俘虜ノ一部

巒山炭坑ノ一部

大港造船所ノ一部

海面ニ現ハル、沈没船ハ獨軍自ラ港口
ヲ封鎖セルモノナリ





ヲ封鎖セルモノナリ



入城式ニ於ケル師團各代表部
隊ノ集合並師團司令部ノ入城
前進開始

大正三年十一月十六日
歩兵第二十三旅團ノ入城





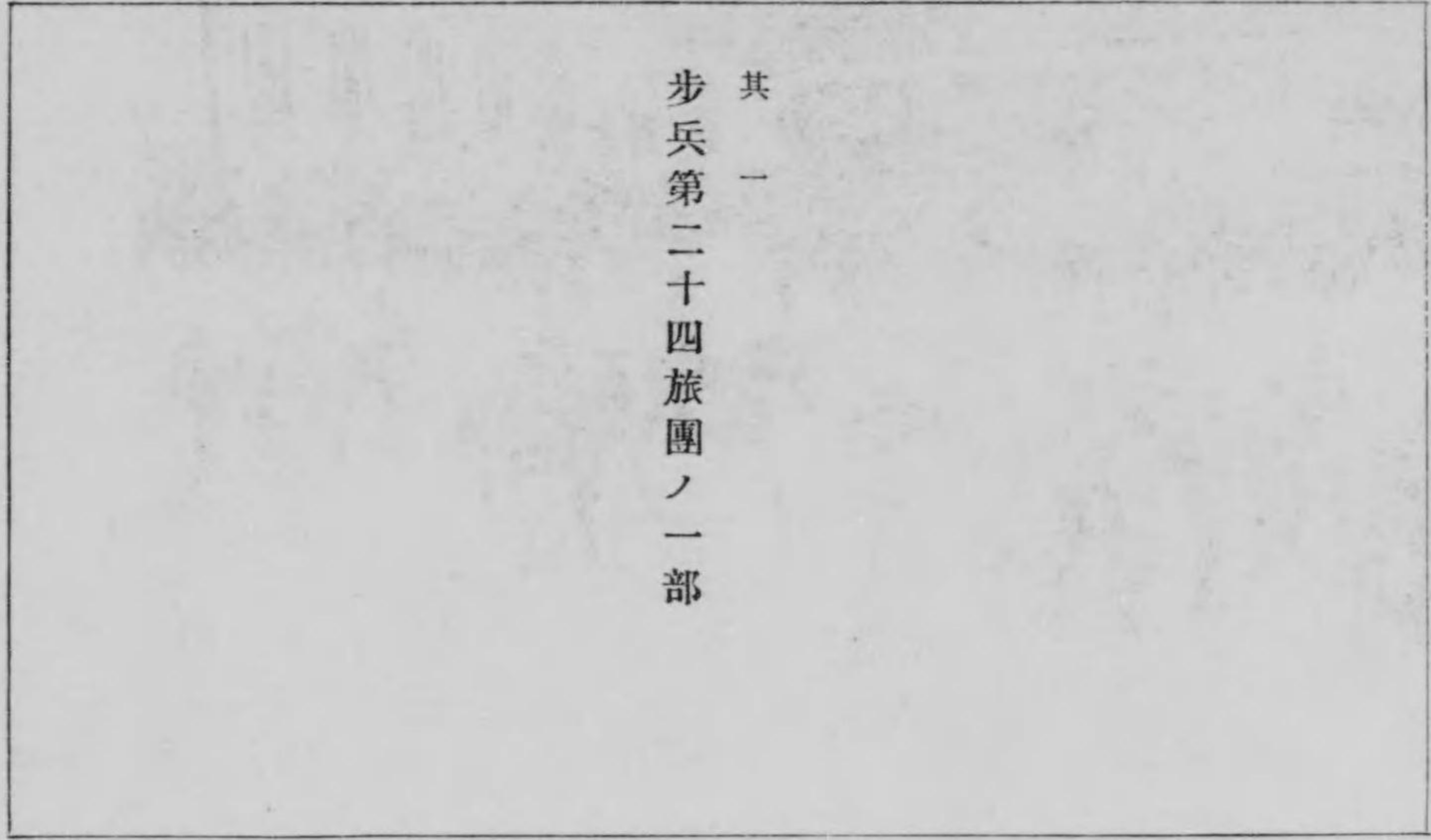
大正三年十一月十六日
歩兵第二十四旅團入城

同日
英國軍ノ入城



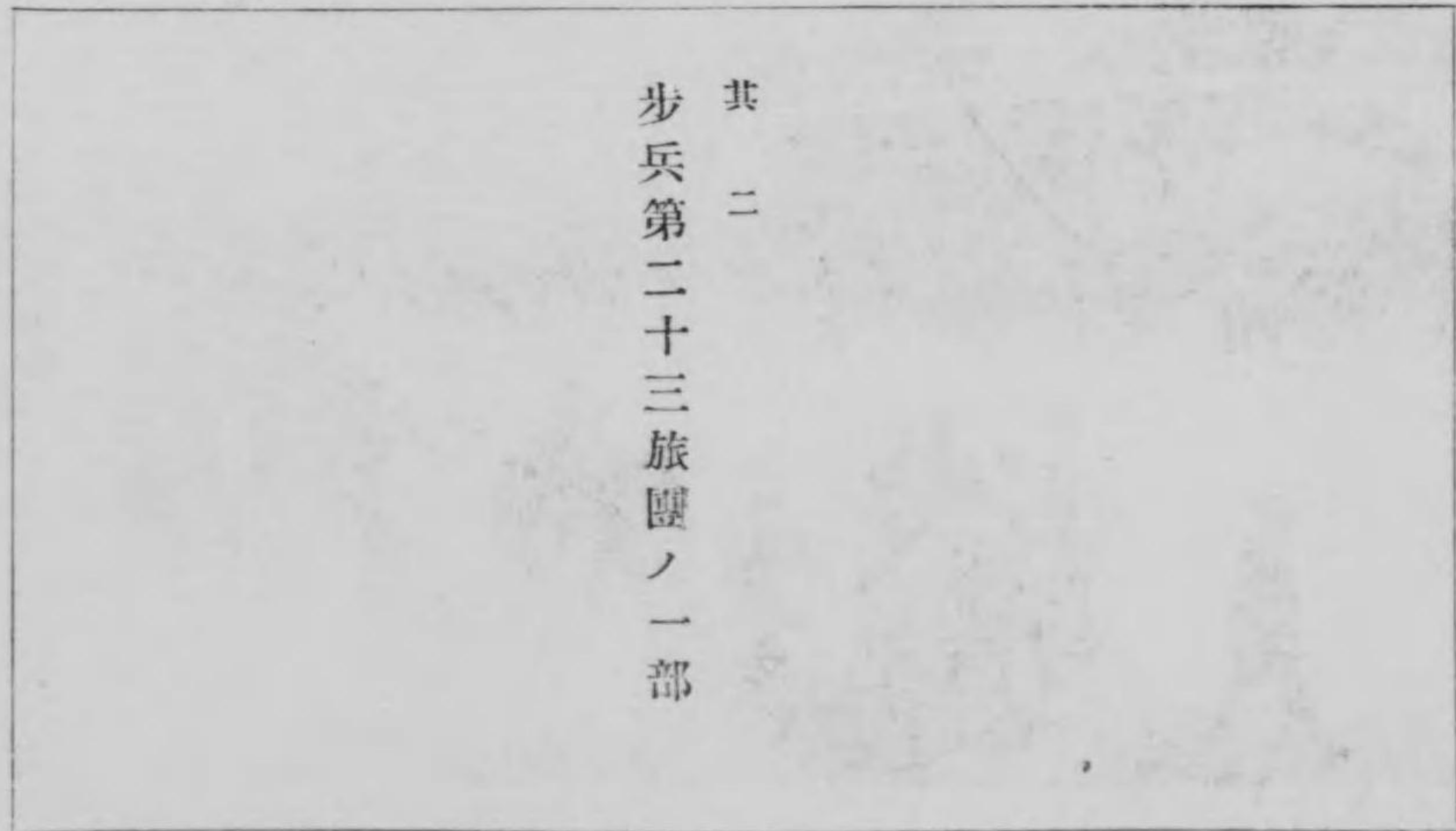
51

入城ノ際ニ於ケル分列式

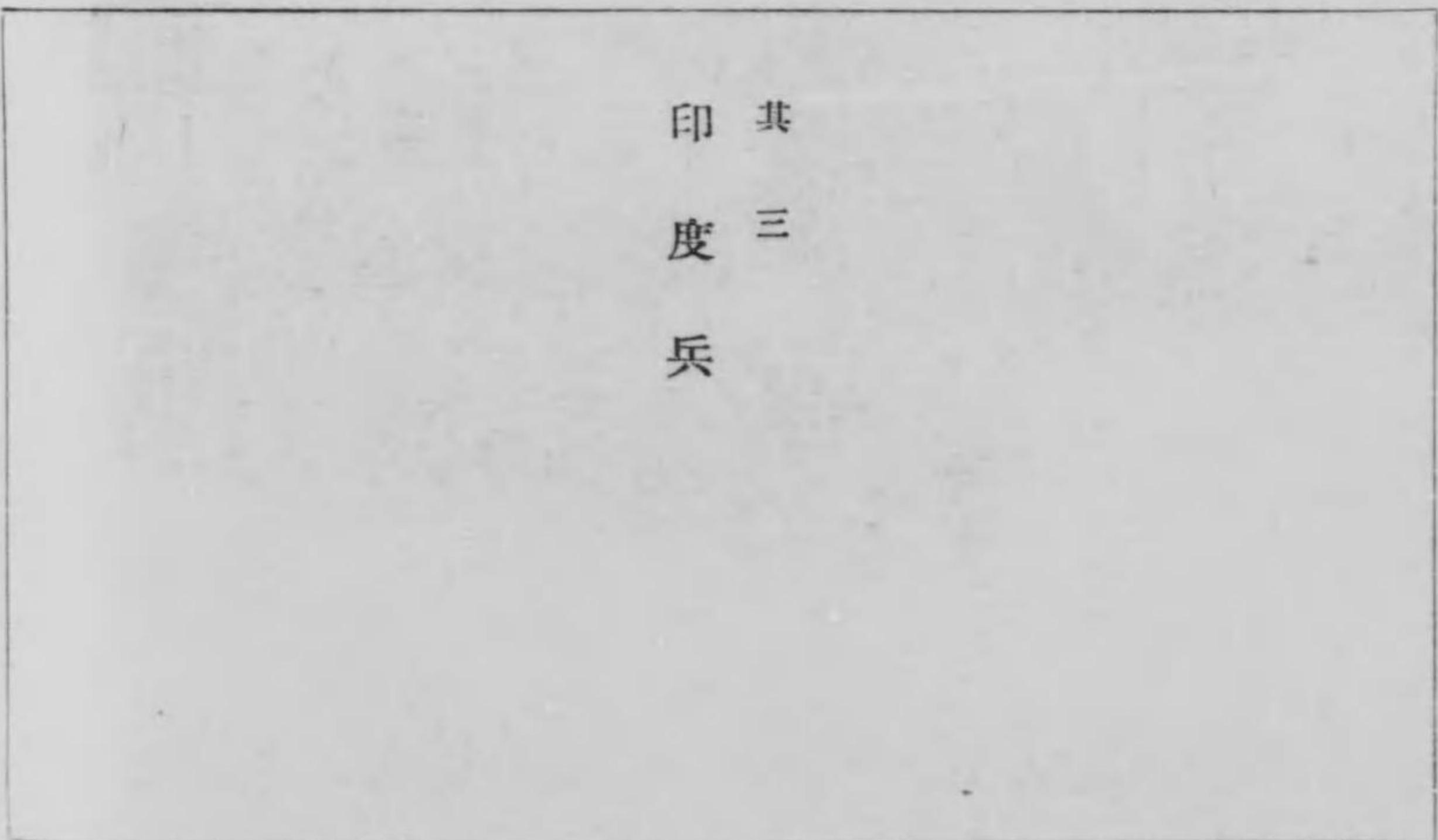


其一
歩兵第二十四旅團ノ一部

其二
歩兵第二十三旅團ノ一部



其三
印度兵





聖旨傳達式

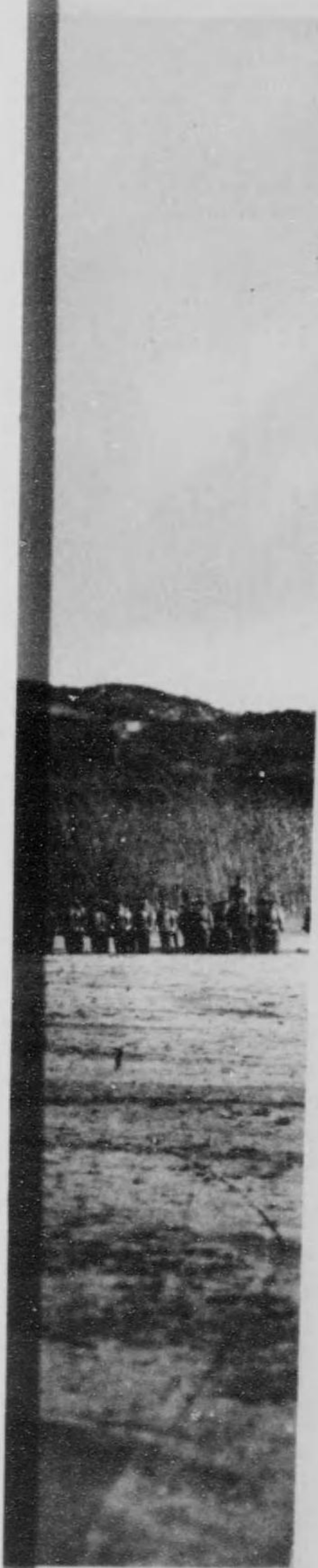
十一月十六日入城式後青島競馬場ニ於テ侍從武官若見少將ヨリ 聖旨ヲ各團隊長ニ
傳達セラル





十一月十六日青島競馬場ニ於ケル招魂祭

神尾師團長祭詞朗讀ノ光景





招魂祭ニ於ケル參拜軍隊

其
一

其
二





陸軍歩兵少佐横尾平氏ノ葬儀
「ビスマルク」兵營ニ於テ

青島守備軍病院 其一
元獨逸ノ經營セル病院

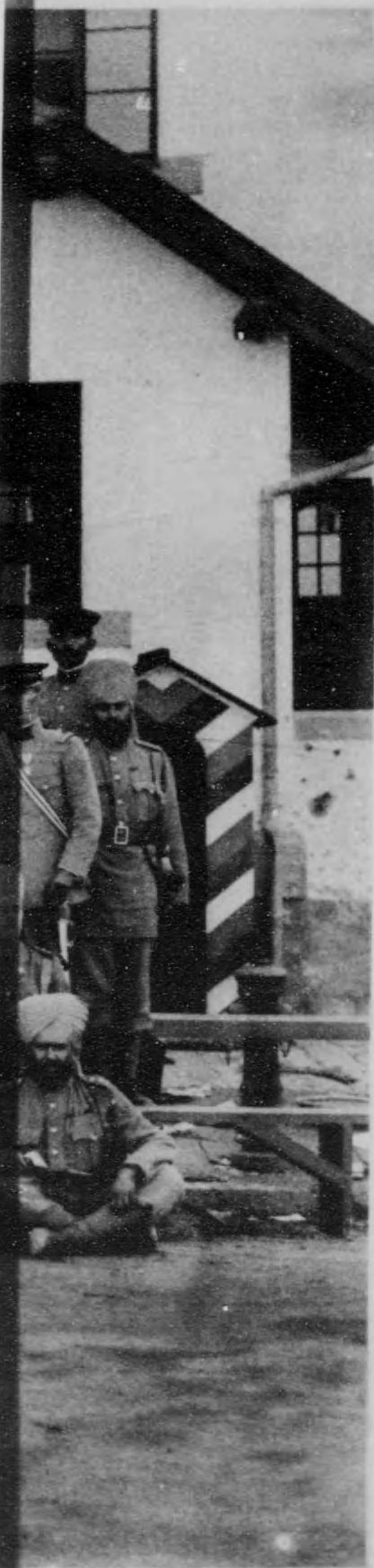
同 其二

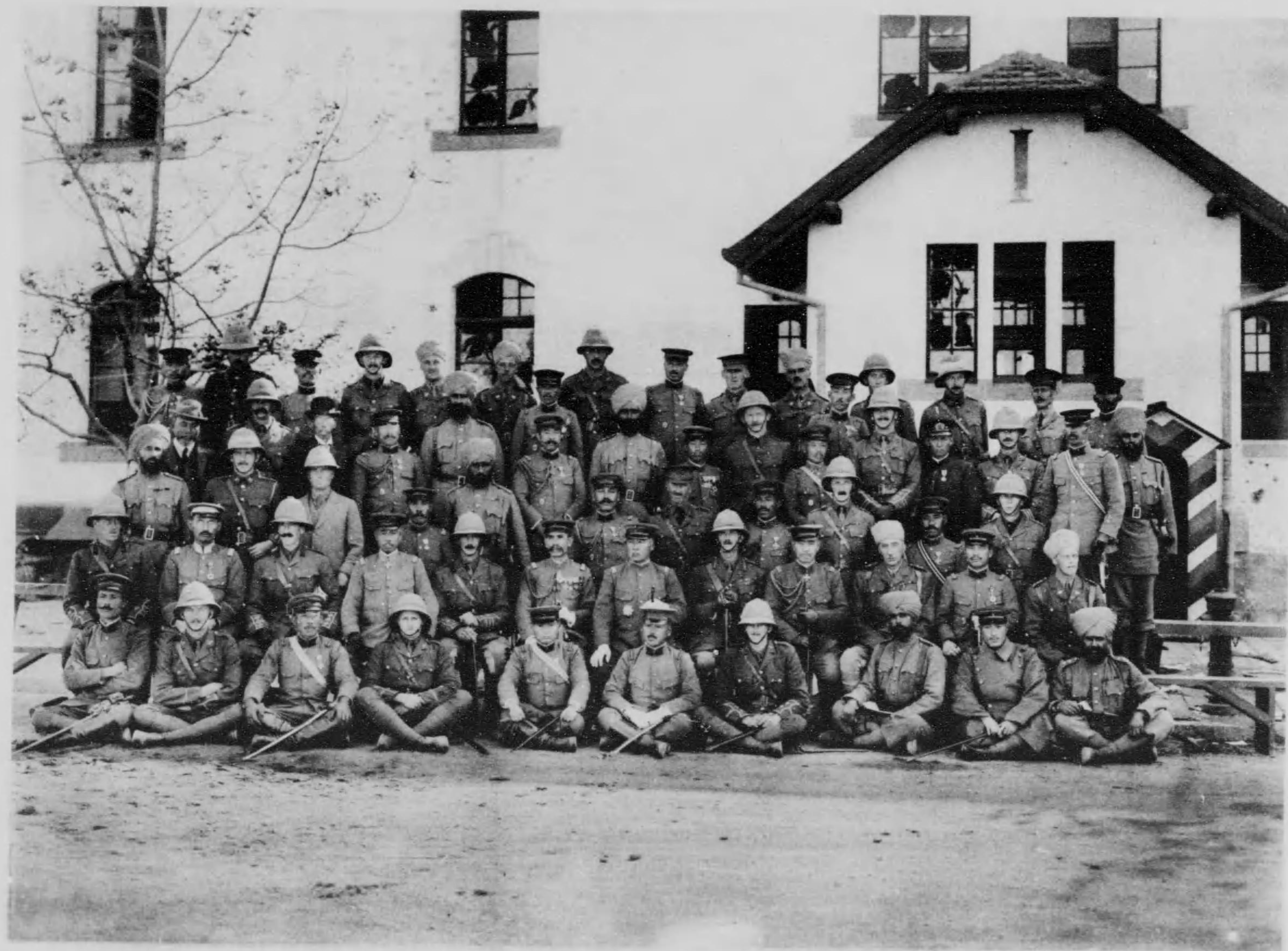
同 其三





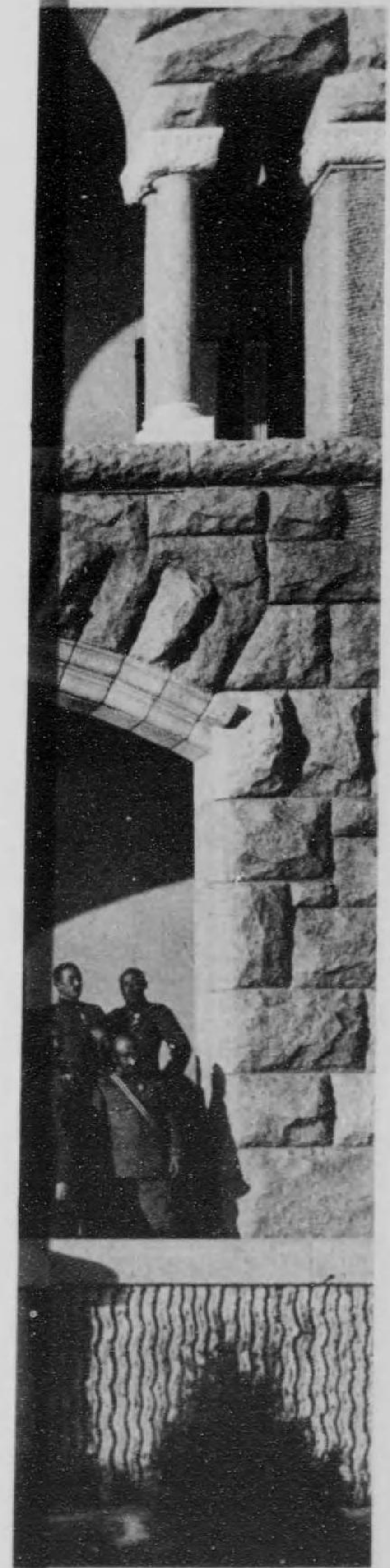
モルトケ兵營前ニ於ケル神尾師團長以下幕僚並ニ英國武官

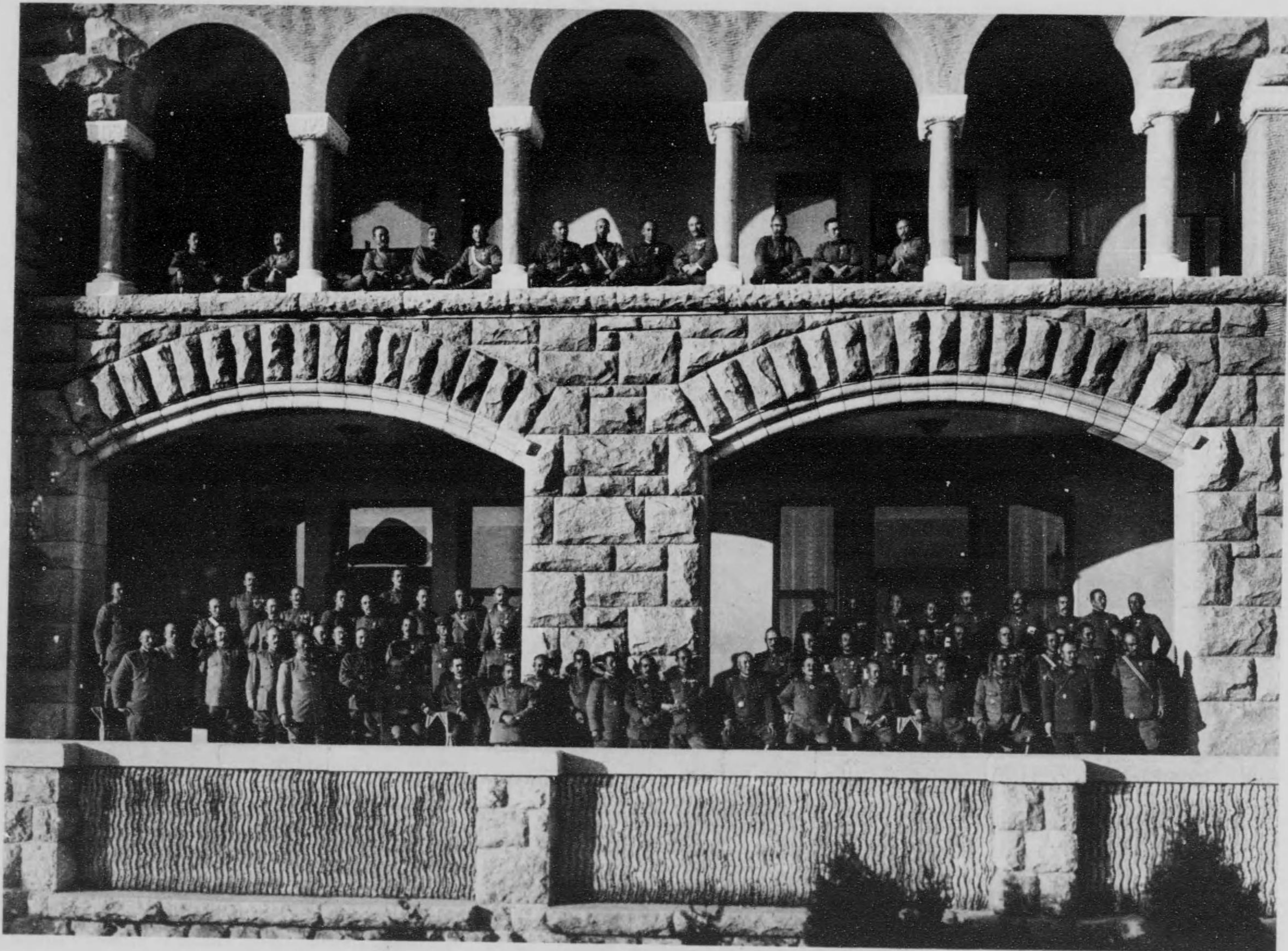




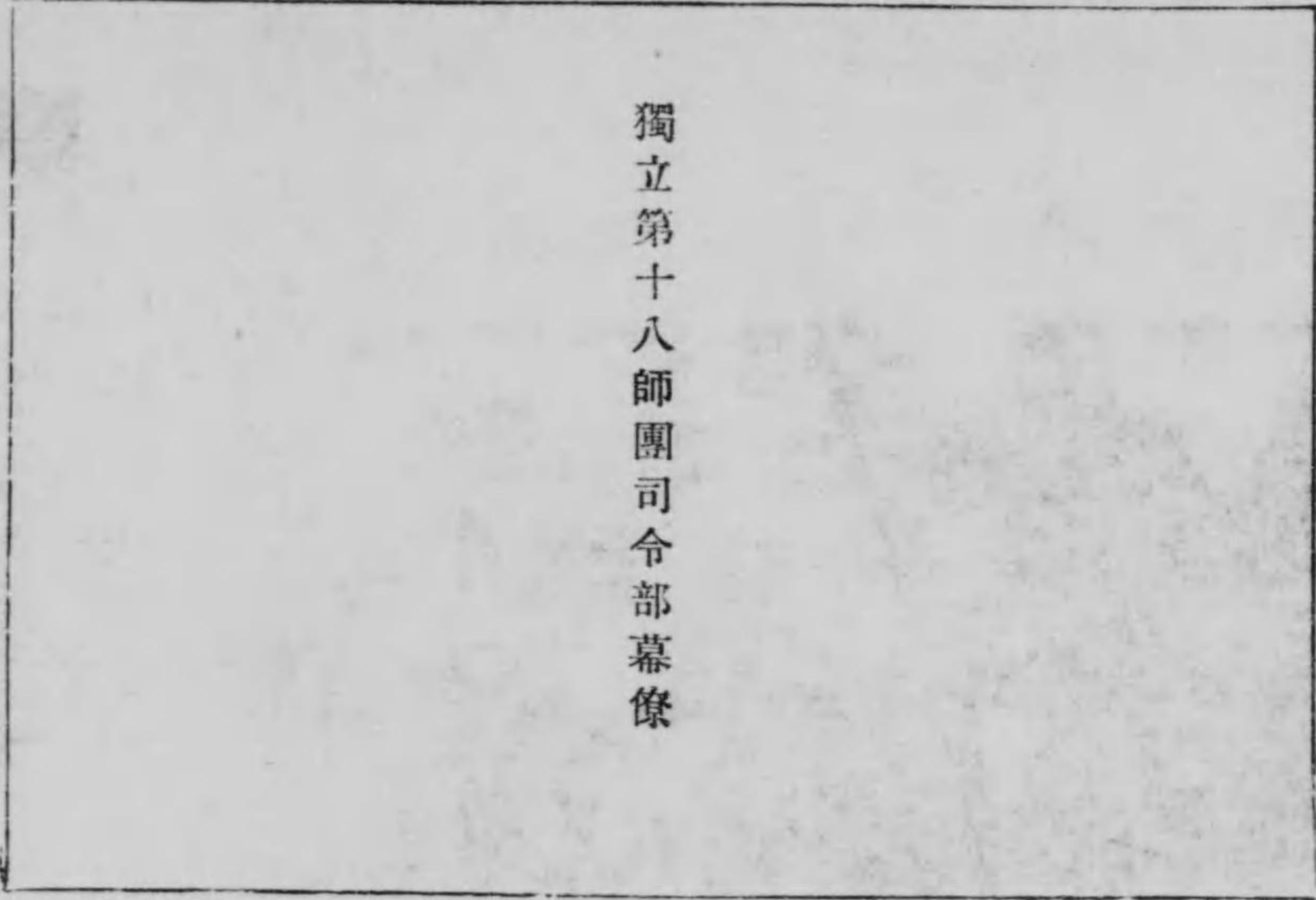
獨立第十八師團長、各部團隊長及師團幕僚

元青島總督官邸ニ於テ

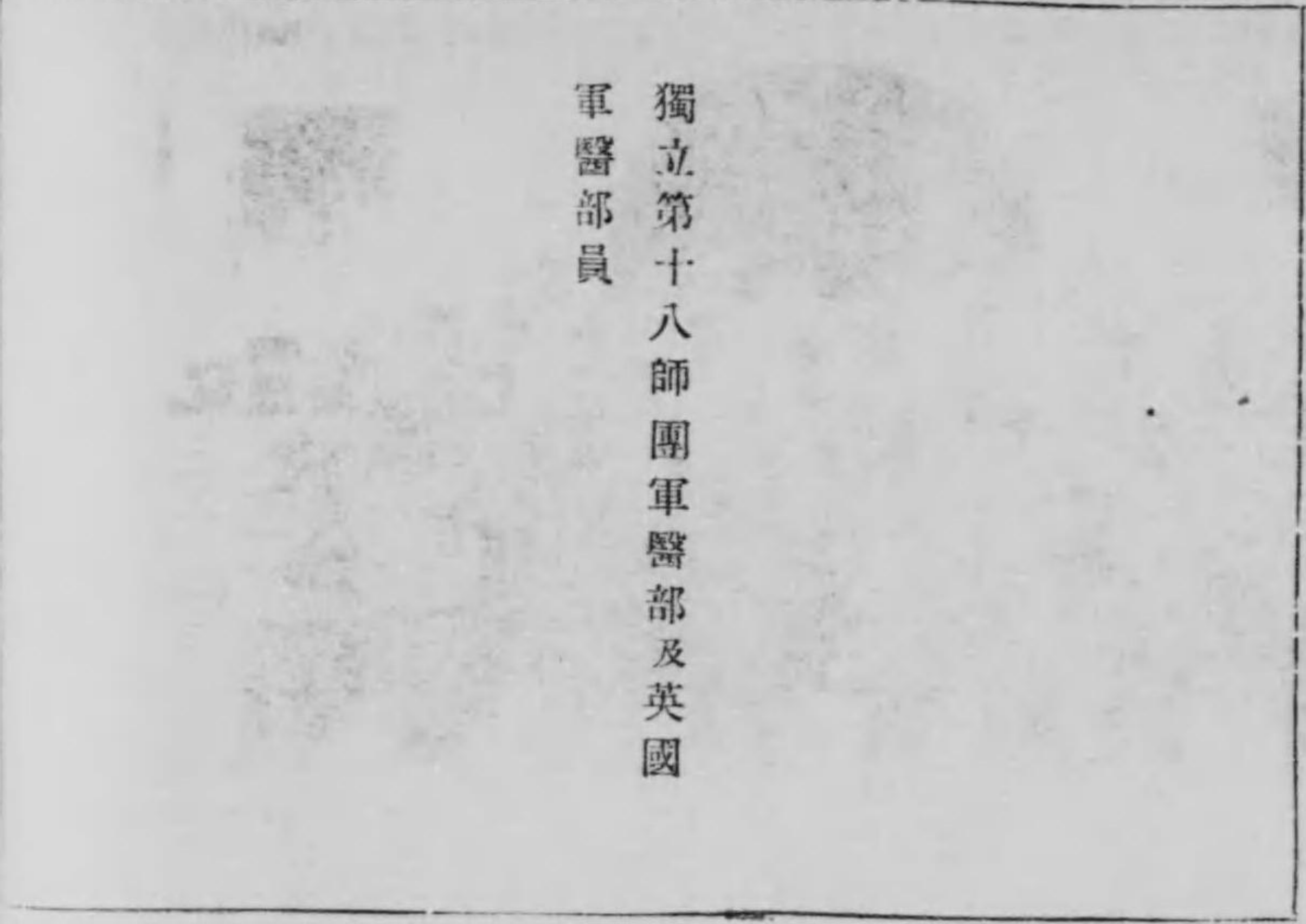




獨立第十八師團司令部幕僚

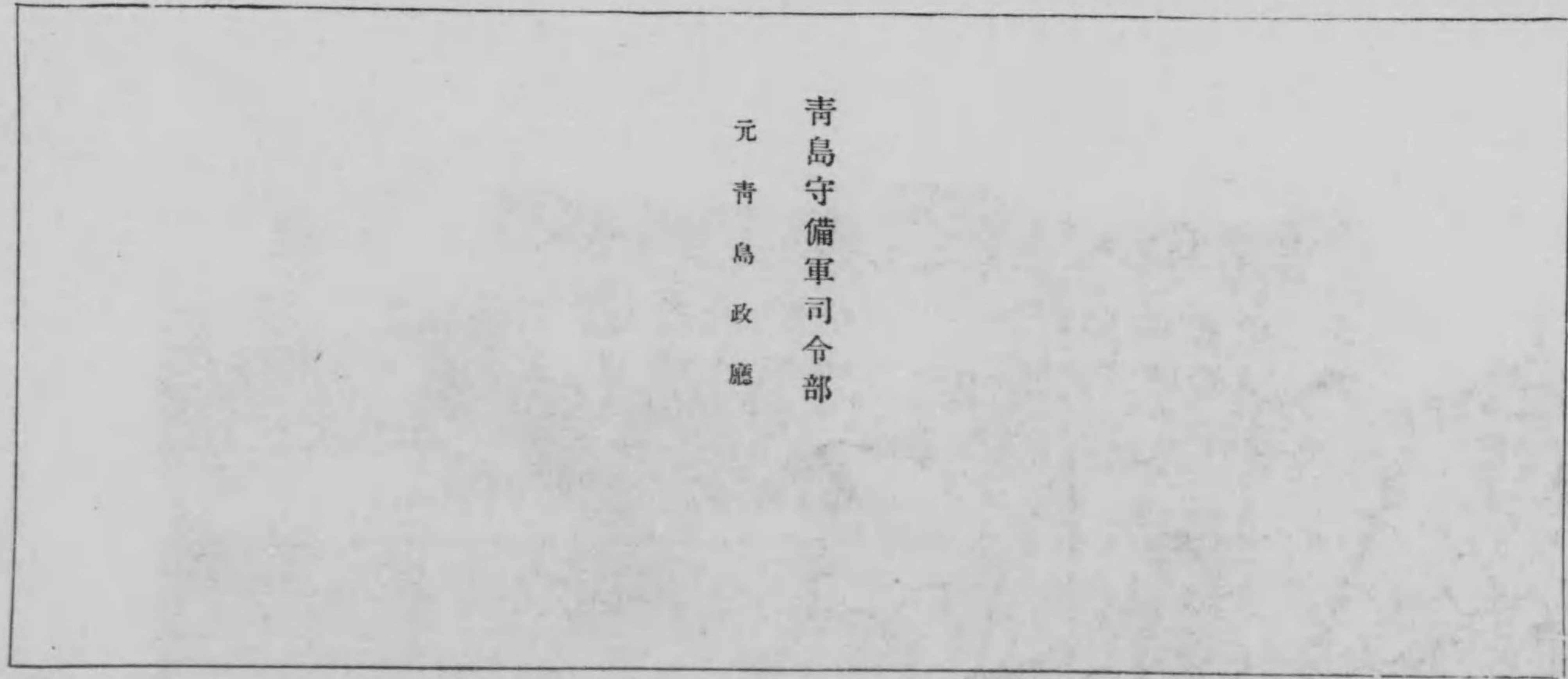


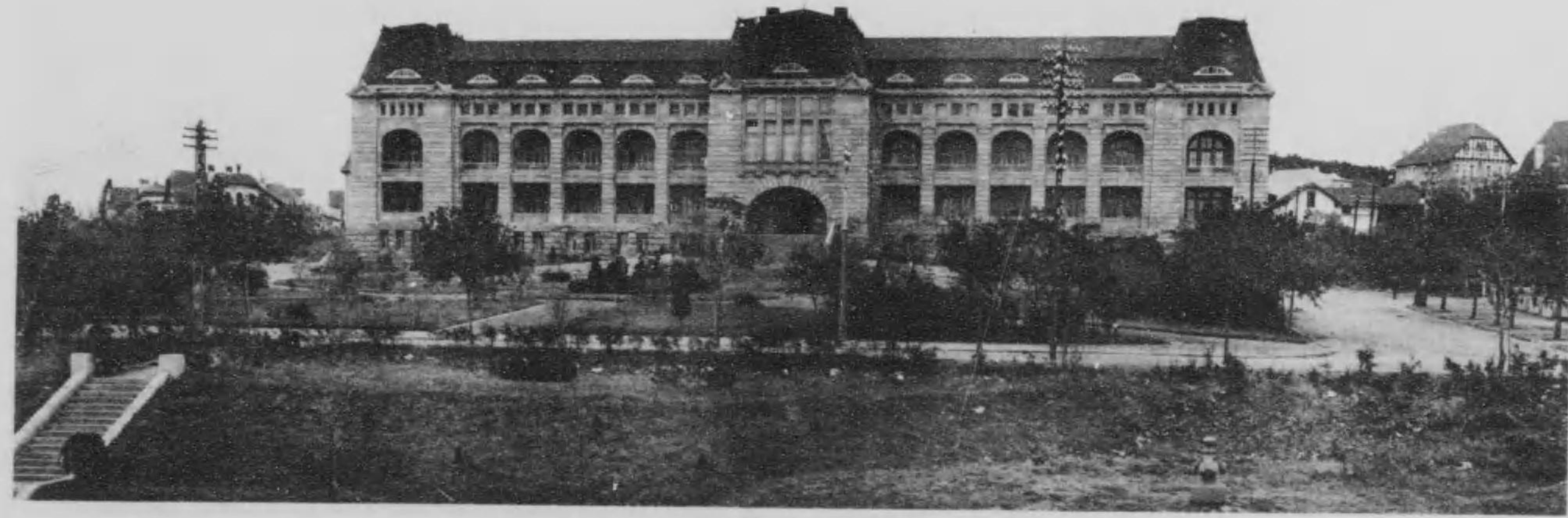
獨立第十八師團軍醫部及英國
軍醫部員



青島守備軍司令部

元青島政廳





獨立第十八師團軍醫部及英國
軍醫部員

青島市街

其一 舞鶴通

攻城戦ニ參與セシ部隊ノ衛戍地名ヲ以テ青島ノ市街町名ヲ附セリ

其二 佐賀町

其三

青島停車場



昭和拾參年五月貳拾伍日
 四三
 寫真一二
 青島市街
 其二落丁



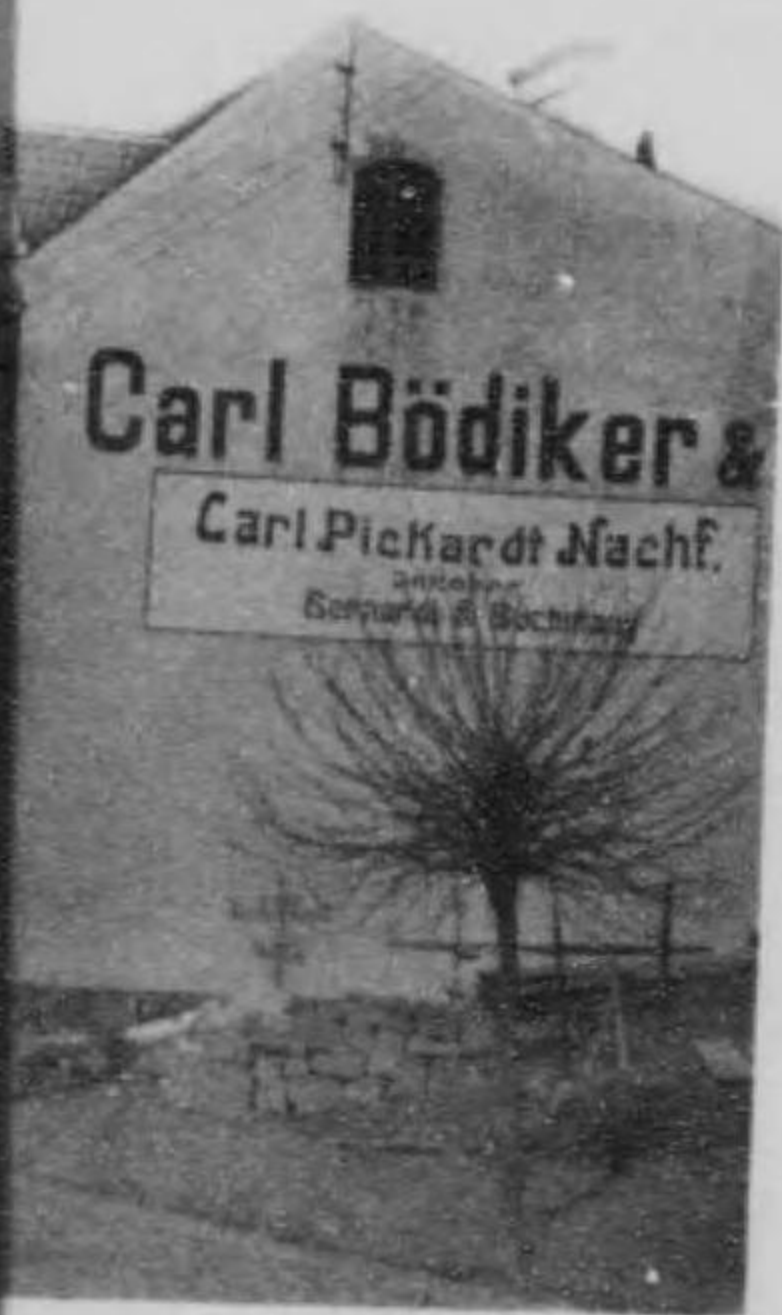
青島市街

共四 大村町

共六 下ノ關通

共五 佐賀町ノ二

共七 佐世保町







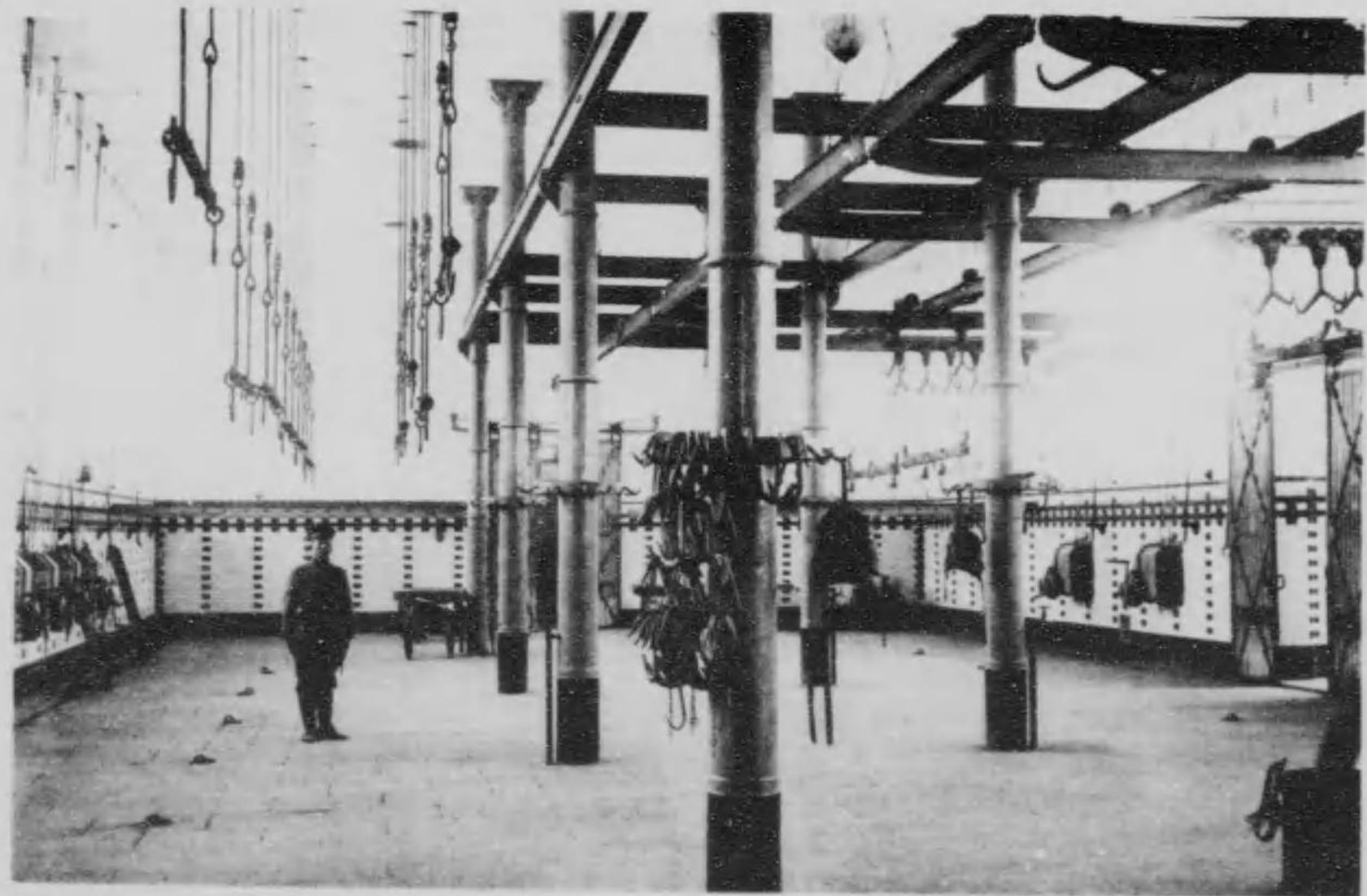
其一〇 海泊街

青島市街
其八 膠州街



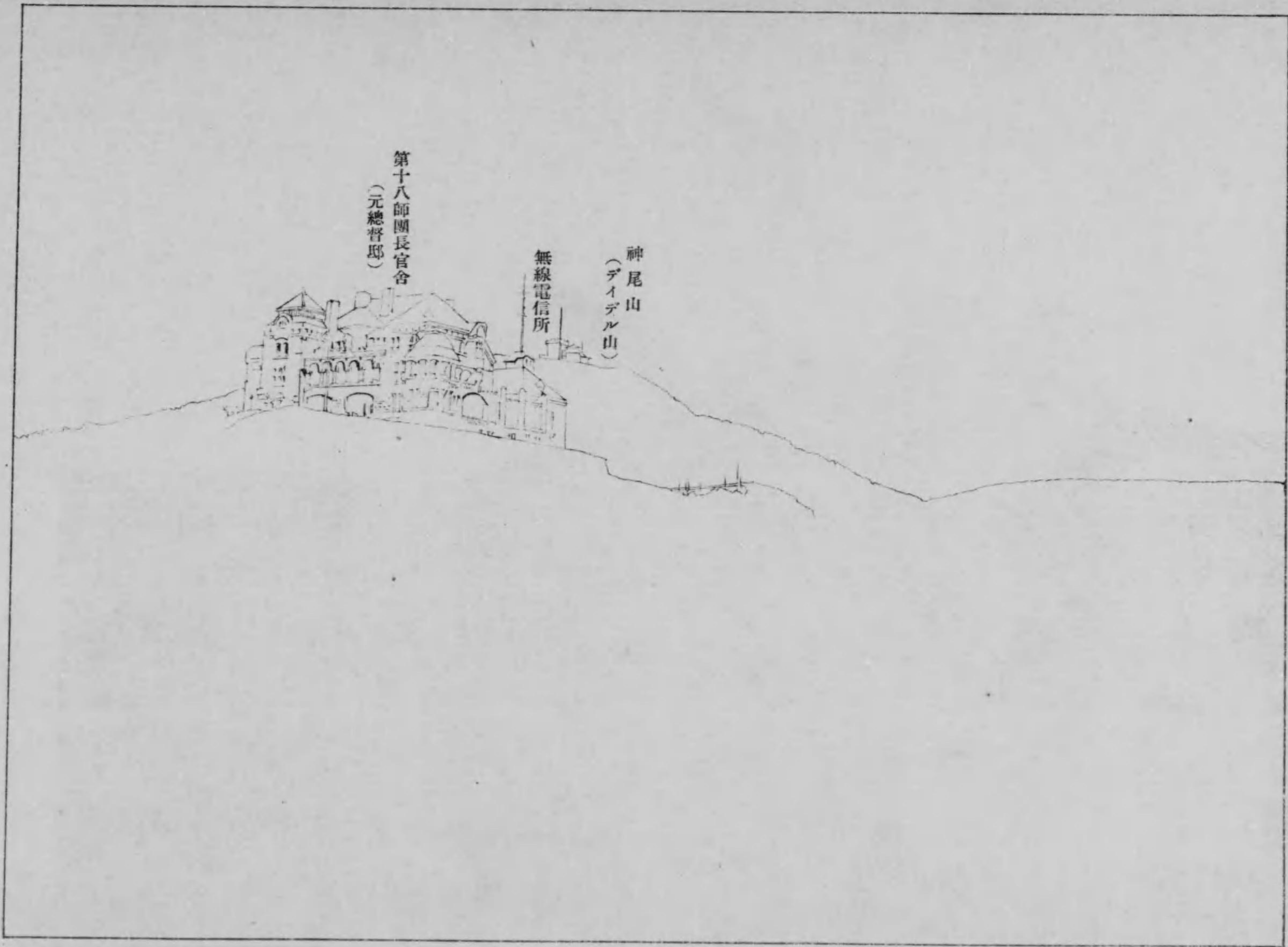
其一一 屠殺場內部

其九 即墨街



其
海泊街

其
屠殺場內部



第十八師團長官舎
(元總督邸)

無線電信所

神尾山
(デイデル山)

舊總督官邸ノ内部

